用将軍の日常生活

山本代表は歸朝

年内に西伯利經由て

く希望で、現に帰国の準備にか

通常議會開會前辭職の已むなきに致り床夾氏が内様に遡つて其の後低に残田氏が入職する通常議會開會前辭職の已むなきに致り後娘に勢力を失ひ最近或る事情からする豫約が出来たためであると解へられる、師ち剛田内閣組織臨時首様の有力なる根域能手さしする豫約が出来たためであると解へられる、師ち剛田内閣組織臨時首様の有力なる根域能手さして、東京特電十三日の一機田氏の球気食総数をび止退却低い新変態がに影響な臨戦ある外に述く入閣、東京特電十三日の一機田氏の球気食総数をび止退却低い新変態がに影響な臨戦ある外に述く入閣

脱黨に關する

來月休會明け迄に

日

時打切るにつき如何な 務省では海軍師と協議し左の職業 れる につき黙愛を打合せるものと見ら、クリスマス休暇のた 時再開するかの二點にあるが、外 につき黙愛を打合せるものと見らい。

協和會主事會議

型告文傳達は

わが外務當局回訓方針

沙州

冉開期日の確約必要

小會と我當局

の意見

職に関する筋に

米國主張無期停會を

に決定する響で、日英米三

新策につき種々協議する處あつた 内に軍権分科委員會を開き今後の

に、政友會は宜しく 第紀な維持に して職に政友會傳統の精神に則 して過ぎてべきである して過ぎてべきである して過ぎてべきである でいふにあり、鈴木機郷には機ら

方針なしての自事経常見を持して

本日は味風

自

中央並に地方の

權限確立具體案

五中全會議で討議

社會式株品食スーソクサドルブ 京東

なほ右閣議前における英クレ

北鐵讓渡後の

菱刈大

深く

從業員引揚方法

蘇聯委員會の準備

李建朝鄉北南山命

であ事となったが、大郷原則左の 中全大会第二大会議において地方 及び中央の機能確立表を誘議、大 の原順のみを決定、詳細なる其 の原順のみを決定、詳細なる其 がある。大

▲ 飛田直澄少佐(安東憲兵分 同上

氏(經調新京在動

比(大連交通銀行副經環)

キュービー

マヨネーズ

▲三輪環氏(滿纖監査役)同上開

日養国通】ナニ日、間な送げるものと観らる

明春二·四月~

備會談

審查

門・肺炎・百日

等即効

回委員會を開く

候補質觸

一男、川崎文雄、松井街生の諸氏以前を開い、東京十三日登園新」在湯機構の東京は大島に青木 震、長岡隆一郎、大塚惟楠の諸氏を推し、總長に次田大三郎、赤池

うやちクリスマスさ新年も迎へち 搬ふさいふので遊艇艇はこれでご 上 漸く安堵

北鐵退職組

地

L

りこ新荷着

(東亞蘭語)川崎高 御註文次第配達致します 一貫匁に付金二圓三十錢

電話七九五六番 店

9

7

19

京に皮強を廃して

何でも早くてキレイにコせる 上のポンプを押せば駆権式さ

大連市惠比須町壹秀地 丸物洋行洋酒材料部

主に、一般な怪物の本性な数率して、 新蕉樹立派の狙ひ撃つ矢は、髪 源三位ほどの威力があるかご

味

釀吟店商吉恒倉大

方、跋友館内の歴史部魅力と呼服の成に先立ち一應政友館の歴史を実するものとしては新華語を表するものと

せしめ、これを民政職さの職職に

黨内を肅正

西政友系自

的態度

に再心不満の意を

化せん

定評ある芳醇

和 京

婦人コート見切品豊富御課変品も特に廉價にて御課変品も特に廉價にて御課を記る特に廉價にて 綱引券進呈、貿上金一圓毎に補助福引券進呈、 同五個毎に

學 生 服 語 襟 上 下

御用命御引立をお願ひします 各種多樣、

特等一千圓福引景品附

輸部大連出

毎日のお食膳に

不意の御來客に

リスマス御贈答品 用の御菓子 品揃ひ 五八〇六電









市連大

街鎖連

# 、思出の討匪行地に再び疾驅、ど 猛虎

猛獸狩に長谷部將軍も参加



二十年九和

不能主催の日浦龍合大甕駅がは今日 でも最も興味める比響さらて各方 

满

雨にはならぬミ若草山保證

、港の船舶立往生

では降り出してうな空――だが 一帯の空をおほつた、 一

を外でひつきりなしに不無味な行。のかたまりなもたらしたものであれ、無いなっというというと、そう脱さも たちのぼる水源線さくツついて満れまでが最もひごく、全くの 動いて南風がサツェ満洲にはいつに親野なせばめ、七時ごろから八 この雨横様は高泉圏カぎ着フェーに親野なせばめ、七時ごろから八 この雨横様は高泉圏カぎ着フェー

のかたまりなもにらして新いたちのぼる水源線さくツついて新い

り出し十二日大連海際局に難し公・米層領事論に本間を続かすに強つたので途に一般事論を続かすに強つたので途に一般事命を続いている。

さする計畫な立てて居を

米園領事館は本問題物館事館を動かすに至っ

將軍の名を書かせ、 甞

〈連の港も街も・

て三世原、ハル

シカ(聡子)シペリヤエルクシ(馬鹿)滿洲鹿(梅花鹿)ノロ

マエルクシカのみで、他の四種は の 場に概息してゐないものはシャリ が

(香屋)の五種がある

文書をもつて當時の狀況、原因等

がこれによって歌く双がさも風祭

旅客機の

江原港

調查方

な依頼して來た

豪快・猛獸狩を語る氏野崎

て長谷部少將は次の如く語れたもので、本社の猛獣狩

方、寫真―長谷

のホルモン戦の處方に使ばれるの がれた不老回春の妙繁、近頭流行 がれた不老回春の妙繁、近頭流行 

米地の山に入つた時

凹春の秘藥と鹿

猛獸狩のコツは生死一如の心境

他地方鹿の猪から

満洲猪 浦州の野雅は

御進物には一

数の皮は何れも六日

成の皮は強けるさを二幡数も

か吉根谷の鹿さはい

谷部少粉の跳

新一覧さは今回本社が猛獣的な行 められたものであるが、うち茂さ

カフェー東ラッキ

狼と豺滿洲産犬科の

☆…仁田の四郎以來\*

本月の十五日は平常通り営業仕候

致して居ります 何卒御用命を願ひ上げます低の價格は必ず御満足を給はるこさゝ信じま

三二 七五三一

◇…要するに猛獣派のコッはあの氣魄、繋すか繋ぎれるか、生かの氣魄、繋すか繋ぎれるか、生かが、その一瞬の男の精魂を打ち 知く縄まり、前を外づすやうなこのは、まかがない。 一瞬の男の精魂を打ち

社交ダンス

す一性其他については懲説にも説かれ て乗な欄との了し 株森林地帯には寒息してゐる。智 する総上港氏の歌歌さ を一流朝の閨場子母 一般と云つてよからう。隔極さも吉 比す可き聖代の壯學母 では、狼さ云はれるオホカミが猛 ◆…流朝の閨場子母 を一流朝の閨場子母 ◆…衞朝の職場行動の故事によ

艦、一方下士官兵は前日に引つドれより市中見物の後、午後五時略 保存會主事の現地講話を顕取、

職職事主立つ戦中に送られて滑る一の撃定である。 「職政者の中原からソ滿國盛へ貫通」が如くアラットフォームを離れて徹底の後次に送る、北黒線の處女 北行した。十三日夜は深晃霧に一徹底の後次に送る、北黒線の處女 北行した。十三日夜は深晃霧に一龍江省の中原からソ滿國盛へ貫通」が如くアラットフォームを離れて 兩洲航空の計畫… 搭載力をも増大

日滿人アナウ

工鋼のトサン小型自動車を放射電氣熔接顕着棒

清水貿易株式會社

奉天加茂町

新京大馬路西

電二二三四六

洲からののS 誘拐された大阪の女給

交代派遣兵

10人的なり」。 人は中等學校以上考 人は中等學校以上考 人あるもの 人あるもの 人あるもの 人あるもの 人がなした。 一、試験は十二月二十四日午前九 一、大郎は十二月二十四日午前九 一、大郎は十二月二十四日午前九 一、大山通八十香地

専売特許

滿洲電信電話戲

版目前郷込んだので 駅市熊野町金糖融金 東市熊野町金糖融金 旅順戰跡見学

處女列車は駛る

慶祝に沸く北安鎮

(日曜全)

大連港における汽船衝突事件

米國領事館乘出す

新線の起點北安徽は歳末の情やルビンより知名土が横々さ來幸

責任争ひ

を端北の洲滿

取 てゐる出现へ人をおりささせた、 だれは深いガスに悩まされつゝヤッ

大連港州合て英国船さ米国船さが衝突しその責任の所在な

既然國際問題化さんさする事

米職に動突したものであつて黄田は

を中原前に入港、その翌十七日 を中原前に入港、その翌十七日 を中原前に入港、その翌十七日

も自機に黄低なしさの意見を励わった。 との一般に黄低なしたものであるを触まで いへルムスペイ戦が流されてこち

ルビンより知名土が観々さ来春、 内田チチハル領事、龍江浴駅代理 内田チチハル領事、龍江浴駅代理 大田・チナハル領事、龍江浴駅代理 大田・チナハル領事、龍江浴駅代理 大田・チナハル領事、龍江浴駅代理 大田・ とこち れ 一路處女車北行 大田・ とこち れ しき 【北安鎮雙村特派員十三日登電】 け手配電報を行った後であるの

四倍の敵を撃退

東端中尉ら傷つく

74世二井洋品店!で

特等金老千円当る

福引等品付

御贈答用・シャン

く目をさまし続いて甲板に飛出 関かさに無持よく随つてしまひ たがごうすることも出來す楽

ピュ

この和解成立して

かず

熊井洋行明け

午睡の間に その後部継水上點で保護され続く 南國の空氣を賦一杯吸つた耐人、 便を得て十三日入港の山東丸で送 山口晴康氏結婚

十四日十廿日十

遼東百貨后吳服部

神評権の方に大連を連り

の証からビューローの希望が管理を終れるの他内地の有力筋から根蓋を

目拔の 場であるため

際も合ひ阿服の大喧嘩さなった

脳脈に押し流さ

強風に 概されて自分の

もつれて郷に職者の職衆は極度にしてゐる、かくして双方の意見は

日午後一時三十 なのせた

伊勢町館の極点盤生

概念、解脱さ

上水道の敷設に

無斷で家屋を破壊

關東長官に賠償請求

の雨船は十八日朝検疫を受け

十五日大連着

おないとさいふので とたが理由は 一般にとて無謀にも 訴訟な十三日午前地方法院に提出がないとこれが理由は



判官夫人殺害さる

白晝十

へ連楓町の自宅で

保年新刊にお召しのモーコングは差 お説特別均一承りの教育住立上り三編にて



滿洲日報(廣告部)電話三六九五番 | 熱縣篠原 新春にお召し 0 Ŧ

金七五面三種 金八五圖 金六五圖

知惑材料山積し

波瀾重疊に推移

高橋財政期待裡に越年

度で「現な放動」都環状不可能

阳和九年

の滿洲財界

 $\Theta$ 

型の報か入れ市場一門に炊調を辿り、除米園の平面切下設飾はるや ・ 一般からざる衝動を乗へ根場は高く ・ 一般があざる衝動を乗へ根場は高く

がれた観ありとも、一時的

にてセメント之れに大き、日を期して行はれる機様で同協定物に就てみるに其の首位。のご建想されこれが實施は一月一のご思はる

これが各続別に就いて見るに此続い。 に佐り賦然優勢を辿り削月に比 に佐り賦然優勢を辿り削月に比 になり賦然優勢を辿り削月に比

て新糖趣能が特倫送に一腔素する 入題の避増振である、同様方面向 のである。 同様方面向

火保率引上げ

商議が調査

決定後の成行が問題

日

# 慎重に對策考慮

政部及び中級においては本問題を重視と恢重考慮中で解へられる から盛んに戯説共が行はれるため満洲関中央銀行の正質響像の基礎を怠くする恐れなしてせず、味東京特電十三日襲】支那は英米への銀説共に懺み予論枕を謀して事實上禁止してゐるが、同じ滿洲東京特電十三日襲」

### 加を示し新記録を示現した、順ち一般の改正で前年より九割七分の増れ一月中の大連単頭歌送貨物は開 先月埠頭發送高 九割七分の激増

題(一割六分強)の総増である、題(一割六分強)の増加を示し、七八三四(一割六分強)の増加を示し、七八三四の一十分強力の増加を示し、

で一般は四分五里十年以上が標準してなるであらり 日賣出されたが、四分三厘パー、十三年に投資家にさつて服置等に、性酸日一億八千萬間、師ち丁康大は酸日一億八千萬間、師ち丁康大時に達する経況を示し一流武儀四の普通會武儀と一流域は四分三厘パー、之に使って明春養行力。 一の十年見恋の新世標さなる職者が、之に使つて明春製行を一定歴時代が完全に強率したことに使つて明春製行を調査は臨り一流糖は四分三層を開きませた。 一、現銀の輸入税を発除するこ共 に平衡税を仕携つて輸出とた現 銀が再び輸入される場合は平衡 銀が再び輸入される場合は平衡 の害輸については財政部さ各地 の害輸については財政部と各地 **木木** 大連製品里大六 大連製品里大六 毛糸操短繼續

并上製麻專務上京

市

况(十三日)

り出して來ることが先決問題だ けに、日本政府が腰を入れて乗

大豆暴落

財政部へ建議

華商金融界から

銀輸入獎勵を

内にあった※洲螢明袋會は十三 登明協會移轉 商工會議 業は奥地筋及び邦商の賣急ぎに暴 様大豆安な眺めて低落を示し、高 様大豆安な眺めて低落を示し、高 でする。 です。 でする。 です

策さして財政部に對し左の建議家



東京。室前三共株式

咳嗽並に喀痰を伴ふ急性 百日咳等

液劑 100年入 辛 .85 他に大量入あり

安東市場會社 一月年前十一十一十一

鈔票受渡減る

市場番

質業部が立案審議中

会談に、 一大二日午後三時より微工動画所で を受験市場の経営の地域に を受験である。 をの内には、 にいってかてられる。 での内には、 にいってかてられる。 での内には、 にいってかる。 での内には、 にいってかるとは、 にいっとれる。 できなとは、 をのとは、 をのうまとれる。 できなとは、 をのうまとれる。 できなとは、 をのうまとれる。 できなとは、 をのうまとなる。 をのうなとなる。 をのる。 を 設立準備成る 五萬圓は滿鐵引受け

○ 「一個分内地側の製者たちは一人 ・ 何分内地側の製者たちは一人 ・ 一点、自由の登場が出来るのに、溝洲 にはそれくの機臓な代表した のて実験の意見が吐するのに、溝洲 ★で十一日間日曜も休まで、 様でするで打ちつくけに議論した。 だ、近来にない大会議につたが た、近来にない大会議につたが た、近来にない大会議につたが た。結局内地唱さ満識をの他の現 地解さの間の意見に使れがある

明春の起債界

依然好調持續か

満鐵社債から<br />
吉凶判斷

◆…それに選続に金を出す監視者か、それさも単に指導経常見だか、それさも単に指導経常見だか。

からさいつて資金を出すものよりだのてあること、古人も「人 が迷つてゐるさき、一部もつてが迷りてゐるさき、一部もつて

第二回 **神 戸 日 水** 

#### 直咳祛痰にブロチ 醫學博士吉村喜作先生發見

及慢性の呼吸器疾患並に

東京・室町 三共株式 會社

應用上極めて安全なる點に於て異常

Prunus屬植物の有效成分製剤にして、不快の味な

の好評を博し、左記諸症に盛に愛用せられつ」あり

SANKYO

三共率品取賣所

解説とを載せたる册子「三共の 夢品」あり御入用の方は此新聞名

粉末 50瓦入 至 1.00 舱闸 100舱入 至 1.05

(日曜金)

ふべく順僚方面に於いて慎重認識の結果、長き滅りの御都の琉織に就じ報いるため満洲事態最後の凱旋機重さして選及び前國東軍参謀談長闘村少勝の歸京に際しては其の不枕、及び前國東軍参謀談長闘村少勝の歸京に際しては其の不枕、

日中旬さなる機能である ・ 「東州軍は北流特別別車を以て入京し特に軍引 代奏することに内定した、而して此の晴れの凱旋入京は一 伏奏することに内定した、而して此の晴れの凱旋入京は一 伏奏することに内定した、而して此の晴れの凱旋入京は一

満洲駐屯軍の軍狀を

月中旬華々人

内根に遡るさ、組閣の際一度入 作息が解へられてゐる できながない。

【東京十三日教婦通】 政友會代議した

氏も脱黨

老宮幹事長さ會見し脱源両を提出

あめりか鬼で雕満する事になつた 軽出数大連へ向ひ、十五日出帆の

の床次、秋田陽氏の關係を清算するに従

和戰兩樣

石二鳥の陣

お役人よりも

震脈なエロ歌には製者が兜をまつて唇らぬ。飲めば斗濡な

**鏡山巖中將** 

**北京東京山北京北海山地中村** 東東東市令官側山地中村 大坂

でに十四回金銭を乗れた総楽服御 てに十四回金銭を大乗はりの着電に使れば十日ま

三郎氏

そこで自分自身で官吏

税取金になったでせうしてい まった 彼女に徹

公響皮球線財政科長の

御本人は奇稽舎の舎監になり

んは水井郷是系 になり勝ちな省公署を明即 たいさ、飲みなられてぬたが にしてゐるのは北村さんのカ

が、先頭出入肥着の間で何處 に持つて行けばよからうかさ に持つて行けばよからうかさ

銀 IE.

取頭

安田善四郎 低に認められた事はルーブル交響 特にないルーブルの際質力が一般 特にないルーブルの際質力が一般 開東 職群 令(十二日) 開東職法院検察官 井闕 安 於ける日本の立場を有利に導う

任 旅順工科大學助教授 級高等官七等 職果職法院檢察官 米田 之雄 **邢地方法院檢察官兼高等法院檢察**八級俸下賜

きき

育研究所指導員全命中 加上 秀雄 旋順工科大學助教授

英國の提議さわが政府の態度

人港銀定のはるびん丸船等主なる「門司特體十三日韓」十五日大連 はるびん丸船客

米海軍長官

新入社員四十四名 新入社員四十四名 新人社員四十四名

建艦自信を說く

会するに内定したさのロンドン報 機能会談を來る十五日を以つて休 は他会談を來る十五日を以つて休 ▲入江正太郎氏(満洲高粱公司副 遊氏(同)同上ヤマトホテル車にて来連

道に動して米國々務省高局は別段等に対して米國々務省高局は別段

教表してゐない

四十餘回を向ふに

陰むかは一に会談の前途如何にか米値が如何なる建艦計畫を以つて

りでないき頗る関連の態度を持

保險料の前納・保險金分割拂・ 我社の特色として定評あり 健康増進施設・團體月掛取扱は

●日本のみに倚頼

さして深厚の御信頼を博す

### 木總裁西 大学 の際一時東京なあけてその間に輸出する。 の腹である酸球友系長老部月、山 大学師京後如何なる虚量を終する。 歸京後黨の統制策樹立

# 反總裁派の策謀

通常議會の前哨戰

南新司令官と岡田首相

のではないったか

(キリ立つたり挑み合つたり、暖) 一部智嶽屋や早朝からの紀年振や、

無いった前大帆さ、18時の立役、 を開催して前大帆さ、18時の立役、18時の立役、18時の立役、18時の立役、18時の立役、18時の立役、18時の立役、18時の立役、18時の立役、18時の立役、18時の立役、18時の立役、18時の立役、18時の立とは、18時の立と 通常議会の前哨戦さして大に 覚になってるない関リ歌ってゐる

を はその 臓に 臓れて 成立 もた。 鬼に ために 神ら飛んで、 機構 臓能を 鬼に たい まい かん はその 極に かん はその 臓に 強体 観像 速まれ |東京十三百数||通』ループル換

率交涉順調

ーブル換算

だ成めかしたさいつては歌迎し何 っ やら敷枝を設置すると降いては永 の やら敷枝を設置すると降いては永 がからないからないからないでは、 の でも敷枝を設置すると降いては水 の でも敷料を設置すると降いては水 の でも敷料を設置すると降いては水 の でも のもあれ不可能へ無外思想は依然 思ふ▲滿洲國の文化向上がきる これあるかために浮游層の生活はさして我國内に漸浸しつゝある▲

感謝し一層の御高援を仰ぐ

明るき家に保険あり

が壁められた事はこの突巻に有ら縁近ソウエート政府がパンの切符

な網遍を辿りつい



年 末と保険

御再考を要せわ加入の最好機!

貯蓄・信託・投資を兼ねる保險 最高の配當、最善の奉仕により

多額の恒産を蓄積し得る保險は 毎年少額宛の御頁擔により常に

K

最大の安心にして强味なり

我社業績の不断の記錄的躍進は この最良の保險を提供する賜さ

東京丸ノ内。帝國生命保險株式會社・曹業課規管 替桑案內·健康增進裝書 蹬呈

滿洲移民問題

具物板の御物質なり、即方針なりにならずに、どうかはつきりさいの過を再び海繰返

計畫倒れにならぬか

ない さに願して非常に疑ばれてなら 必要ださ云ふ風な言明がありまし

ませうか、誠に無のない

者ぎない、映像が潜んで熱質を云ふものも唯一時の部

大蔵公望男の質問

此の一連が呼應

想望されてるた政策の革

を北向八時四十分まで橋々で野談 を北向八時四十分まで橋々で野談

機能は可能を主要下並びに伏見を放映可能をの人権官制機王殿

林滿鐵總裁邸の

晩餐會に台臨

の三宮様

英舞に

に御默禱

畏し白玉山で

保を官様に構込んで手加減を加へ を加やう響がなく、関東局事務官中 を加やう響がなく、関東局事務官中 ではの他人事職

能議する事となつたので球所は早 局機長には前流蜿蜒事十減氏を推 年後二時より徹音委覧會を開いて、就低は極離の極機である、叉甌東 乾に伴ふ敷金製は個響影が十四日 上氏は固齢して居るため、同氏の 東京十三日養國通一松高陸構改 よりその教低方を交換したが、遅

新機構首腦銓衡

南大将赴任迄に決定

大連官民主催の

菱刈將軍送別宴

内に實施し得る見込を立て實施に

には所謂鈴木派なる幹熱

一國との關係强化

外相、南大使の意見

說

南大將秘書に

吉田書記官

秘書さらて南大縣に随代赴伝に決都第二縣三等書記官吉田寛氏は社の部第二縣三等書記官吉田寛氏は社の部第二縣三等書記官吉田寛氏は社の部第二縣三縣三縣三縣三縣三縣三縣三縣三縣三縣三縣三縣三縣三縣三縣三縣三縣三縣

就任の意なし

吉興上將以下

野立の有様である

たけれざら職東局の主なる住官者

八選は

大陸見歌がつい

東京十三日登園通』 岡田首根より無謀を受けて考慮中であった場上大管は本日の定領大管動産後端と大管は本日の定領大管動産後端と大管は本日の定領大管動産後端と 同して左記規定により宣傳ポス部共同主催の下に第四回戶外週四日十年一月十四日より二十日

のれ主義の政府と軍部の反對

ためてない

ってゐるがこれがため概長、

意見對立

皇帝に拜謁

東廳內

後 採

滿大

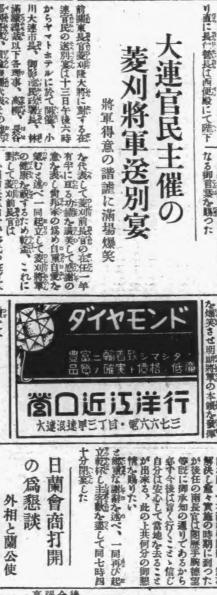
日新

社 社

見 における日本陸軍特別大演習を陪した満洲國際校職古典上際以下 は十二日午前十時半勢内、皇帝陸 に特別監査理論を開せ付けられる。

戸外生活の體験談 傳ポスター

闘宛但と原稿により選者が推測することあるべと)四、婦人のみに適するもの二百行以内」▲入選一科十編



日蘭會商打開 の爲懇談 外相と蘭公使

不たのは一に全く在下大遇なく仕事を含

圖寧線洮索線

の一部段繁製開始に願じ十三日

部假營業開始

10年 八〇四二八〇

第十四回購買會第一次當籤廣告 界四九號、優、特、甲、乙、丙種各組共通 昭和九甲十二月十三日 **申上候 能昨十三日午後二時** 田宮中

~~~~~ 螢 =+ 容内の月 大阪屋號書

京高島派易斷 昭和十年の 總本部

大連市浪速町(大連百貨店四大車)

☆☆☆ いるのは TAILOR

年末洋服の御調製は今の内にお早 洋 黄金町 高田に 高 九四 御註文下 3

。店

田来高 四十個 田来高 四十個 開業金 編製学 全製学 ・ 11公司 11800 4810 綿糸强保合 平型三分計 1円30 鏡 螺状一分計 1円50 鏡 東京 日本橋本町・發表元・法井合名会社 各地環房にあり

大豆弱保合

出來不申

勝山洋行 Joy of the Tasto 多中島名産 から長崎

0

ゎ

た

二合梅梅

五五〇〇

二.五〇位より

(100 一月 (200 公人(0)0 一月 (200 公人(0)0 五月 (100 五月 (100 公人(0)0 五月 (100 五月 日本各地名産 年末大賣出し 致

車 學 生 2 7 內

金庫あり「大倉金庫」に 弊店類似の名稱を冠せる 明治五年 村 商 店

葬禮の花環

いては何等の意味も無いこと

近頭のやうに大陸な足までついして促動に恵まつた、時代の数れて松本に恵まった、時代の数れて 黒のリポンさ 宣傳ポ 及

並に戸外生

生活の體験談

ター並に戶外生活の體驗談を懸賞募間を舉行するに際し吾祉はこれに賛まで一週間關東廳內務局、滿鐵地方

九十錢

◆その替さいうても かく二十年記 り前までは 薬者の 変花が 使はれ て居た 挺 楽さいへば 様く様で 献 も生花が 使はれて居た。

まい、また之を振

◆花ぞのものは並て生花で無いさ も好い、しかも近頭のやうな俗

会を受える

後場市況全部

石川高吉儀豫而病氣加療中の處藥石効無治門者の機は一四日午後二時豊宅に於て歸幽致候間に於る婦は十四日午後二時皇宅に於て歸幽致候間に於る婦別の機以一四日午後二時皇宅に於て歸幽致候間に於る婦別の人間を持ちば、

界各國酒類· 食料品

大連西南場映樂館横創立(大正十二年)大連西南場映樂館横創立(大正十二年)

日

共匪七名を殱滅

等兵、名譽の戦死

**街通りが明るく** 

報

時職率古建織哈鵬河子附近部深で《吉林特體十二日聲》十日午後六

軍人の参覧さして即日上等兵に低

市民

の懐中は暗く

記念事業に非難の聲が起り

大官屯驛

素晴らし

双方明る〜妥協成立

事業の登版に伴ふ石炭及び重海そ 事業の登版に伴ふ石炭及び重海そ をもって新築された大 野は、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、

か、市監局では帝極記念さ市街美

圖寧線の共匪 百名を撃退

東京を開始して市政公製では現在中 東京の所有財産さなつて居るが 東京の所有財産さなつて居るが 東京の所有財産となって居るが

能搭載を塗げ正式調印をなすもの 能搭載を塗げ正式調印をなすもの

今日の数化器版の大事礎を成した。 作所規さして赴低し即本採日盛ん なりと地に於て完全に此節を聚し なりと地に於て完全に此節を聚し を表して、 をまして、 を るや後低さして新進の激激乙二氏次いで昭和四年二月同氏築戦とな

中央銀行も大譲步 模様なるも詳細不明 滿鐵敦化派出

大演習陪觀に渡日した

好"

王龍江省教育廳長談

讓受成立

一大遊園地

たる所以を初めて網接することが一会ところに及び、日本の顕微が世界に通 我のに及び、日本の顕微が世界に通 我 出来た、泰に我々一行の際観席が する誠意もうかゞはれ、たゞ感謝 する誠意もうかゞはれ、たゞ感謝 する誠意もうかゞはれ、たゞ感謝 みで、就撃児童が九九・五パーセ

しくての繁雲を除去されるに至つ 平を織じて悪傷などな悪情によって振縁、製着は悪気の打撃をいまって振縁、製着は悪気の打撃をいまって表る に追いつめられて

居る満人幅の阿比能響 た、満洲画幅の解釈を受け航火繁盛 の打撃な受け航火繁盛 の打撃な受け航火繁盛 の打撃な要でる者な見る た、満洲画幅の解釈で 等小撃戍の在撃生は事態後急載に が、被舎が市街の南端にある監察 上これ等児童の大半は戯やさ迷ら とこれ等児童の大半は戯やさ迷ら を小撃戍の在撃生は事態後急載に が、被舎が市街の南端にある監察 上これ等児童の大半は戯やさ迷ら とこれ等児童の大半は戯やさ迷ら

旅客の輸送をも計書 る生産品の市場道 あるため、父兄の養癒を大ならしむるのみならすとのさして父兄命より園野を変店に繋じ通要用バスの運転を放って、一番職を譲さし来る十日より市内一部職を譲さし来る十日より市内一部職を設さし来る十日より市内一 間に運行する事さなつた。

日満協和の尖端。 安東省公署員歡迎宴で

王省長の感激的挨拶

管内居住職会家方にも四人組のとたが同日午後十二時頃都の分

以各職長以下省公署は軌迹室は十 推廣電景大津地方委員議長市民なれたが主客百数十名帰職、先ろ孫 れたが主客百数十名帰職、先ろ孫

四十四烈士の碑 二十日除幕式を行ふ

方に建立中のさころ此の程施工するに載つたので、来る二十度記念碑は去る十月上旬以来、大倉邸の手によつて大乗職内 歌で染めた武者少尉以下四十四總士を祀る大興の兼江世際戦長チチハル】 貯粮―皇軍のチチハル入城に先だち北浦曠野な 動物心感大管に同十一時半常能した(富貴は除事式) は事天殿内画郵間公園において除駅式が駅行されたが、来賓多敷 な中小製筬生徒見薫の軽い戴金によりこの程売成したので、十二 帝制記念塔除幕式 念する記念塔は寒天省下

## 民居留民が **電燈料値下運動** 登成安東の特来を

早々にからるもので見られてあるがとがた げに決定した機様であるが之がた 規程内規則では今秋九郡天曜業務【奉天】奉天 を起し、民会並に農・田本居留民会では

保留を數日な出ですとて民會に於

死體
どなつ
た

山本吉松(10)同內整條氏(10)=

見本が入用なら申越し次第に送

る假名は数年前國際結婚をな

に十三歳になる男見すら儲け

三人を發掘

撫順戶 鄉坑落盤事件

近程氏が八歳になる女見な養育物で除るとい日を送つてゐたが、最

派出所を設置 鐵西工業地に

人に出てゐる間に今懷お初地蔵なに夫山本が動め先の某種院の水仕に夫山本が動め先の某種院の水仕に

城内領勢分署に説諭方を依頼同るので、堪りかれた山本は十一

「後城見を前めのここを終しても実住氏を呼び出し、山本の前

=

收穫狀態は先づ六七萬石の不

り花田事務官が赴京職経験突滅に一の等しく注目する處である居る田で十日吉林省公署監察職よった近し職く懸後の決定家には中央も或程度恣鬱意を表して一村の死活問題であるから

國側の信望厚く五代の駆長を経て

には氏の涙ぐまこい許りの逸話が今日の大敦化への要 展の努力

回第二回に次ぐ会浦農作物

戦に著ると

居留民善處の大低に識りその功識

殊に満洲事變に際しては良く

【吉林】製製立園たる瀟洲園の製 製造者さして経済戦一の模蔵省製 製造者さして経済戦一の模蔵省製

吉林省公署農村救濟策として

對中央折衝を開始

來任し爾來波々さして發展に努力

の私煙館が

が何れる総能してゐた 南礁した森口氏は大正十三年盛 が 何れる総能して入正十三年 歴 以 厚篤賞の人さして今回の列職は と 本方面から情まれてゐる 二回に更り支柱夫二名を歌地した氏を歌見引鞭を同十時午後一時の 三 同地區企業をより管電派道、製作版工業の大学に表すられ無警察機能を売し、 領事館警察ではこれらの要当によ 総備充が叫ばれてるたが、奉天徳

奉天の盛場に出現

地區の保安に離る智・地區の保安に離る智・地區の保安に離る智・地區の保安に離る智・地區の保安に離る智・地區の保安に離る智・地域の一切・地區の保安に離る智・地域の一切・地區の保安に離る智・地域を開発して、

するため弘報課旅客な成業雄氏外 はの現況を殿く内地へカメラ紹介に 建一盤路機局では駆進する北

總局寫眞班

職で、滞心を撮終した 二日宗四日間に取り土里、継差、 一日の訴説班を瀝逝し九日より十

國家主義の再現 ※※※

日本國家學の出發響

軍犬所長勇退

知識階級は何故困惑がる軍は事員

嫉妬の 政治學

八阿片館の悲鳴

圖們驛の構内に 國際で倉庫新設 商人も幾分救はれん

が補せられたせ
の後低には歩兵撃校教官松村少佐

第一座高家棚子分所動内層供的動 第一座高家棚子分所動内層供的動 生方に抗構の妖しい下弦の月光を 協りて四人艇の強姦所入り神虚に つないであった三頭の牛を強能逃 っないであった三頭の牛を強能逃 0 ◆送陽央 と催し 柳丁塩最ホー

日本刀復。內本阿彌光遜

論

辰村問題總批判·
憲漢與前先體

小野

鐵甲 散史

四人組强盜

各地人事 前常日商業會頭) 十一日午前九時 神祗 太政官机物語 唐人お吉の顔 幸田 海針

下月艺也表 中谷 谷山 航如卵武胸 二是上地 声

二助役十一日各機 大演習印象記 白井 喬二

語周大明るを川 大川さんの一面大川さんの熟備 雅 物 大坪草二郎 三上於莵吉 養田 赤松 編川龜太郎 金內良輔

にて北安へ 十二日本奉同

、十三日解率の関上

來島恒喜 純文藝に就いての難威 一寸と五分… 一般 物 田中貢太郎

建設へ躍進の安東 萬都市目指

無陸の空間受東の要成 かして変現可能な足どりな を示して居る、地方数 進めてゐる

本年の建築屆出件數 金州會長會議

では、100mmのでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、 家族の娯樂場さしてまた北鮮に設 【第四】 營口北本

ある際山へ

卜場計畫

精米部新設

羅津に屋内ス

一月號空鐵

二九六三九

事能能**能し現在の**変拠が 脚に取り日浦変熱機能 一般に取り日浦変熱機能

東で記しい人の他の/数み心/を 七百五他の大半八百五十世は歌数 七百五他の大半八百五十世は歌数 一千一

ての漁棚を採取の製鋼を見ると、

(三)

**満洲國年賀郵便ポスター** 

刷印物只一分郵票

於元旦的早晨<del>溪到</del>蓋一月一日的數字

至本月三十日止自本月二十日起

小學

他さして他人の耳をそば立たせた があつた、熱しながら柳有の大事

ー月の犯罪數

ダーク・サイド

來版客職さしても大

関係の事について来安した事が一些大な歓迎宴を催されて感謝に

あるが當時一番深く感じた事は 日満人士の協和的な行動であった安東省は種々な意いて困難のの最尖端であり養鮮地であるさいふ印象は私を非常に力づけるのである、日本各位の此の協和的態度によつて我々は大いに御物を受け王道質現に進みたいものである。それなりません。

鶏の葉に復現一勢なも得ずに逃走。強盗が庭内に忍び込み繋いて鳴く

から」のサービス・モットーの下へに直接像の吹着に完めつゝある電くを記事天管理盛では、現在眺壁へを請入男子交換手に遅に流入交換機像を増減配置する事に決定しま 【事天】「滿家の文化は先づ電話 日滿兩交換孃

東京日本和

1

勅題、池邊の鶴

ゆるやかなウェーザで池池のなご すたのびんはごく自然に早ば耳なか くし、右は耳たぶなずつかり出し てもみ上げの後れ毛なカールもな

たの乗れはあまりまなさるされられて大空に

を なってる さばら

◇・洋髪と帶の結び方・案

大学が、装着が、装着が適等

た芯の酸くない

の歌下式(ドリップド)コーヒーの歌下式(ドリップド)コーヒー・メーカー でかの登明がコーヒー・メーカー ナーの上に加へられましたが、駅近この上に加へられましたが、駅近こ

ーと一乗のために縁を吐いてなり とて特許を得た人があり、わがコ して特許を得た人があり、わがコ して特許を得た人があり、わがコ

野獣派ご

ドラ

でいるとこれがた所に しゅうしょう

「ふくら数」によく似たおび方で歌跳をあしらひました。闇は間の

新母の盛裝を彩る

日

すが、之も感ず三尺以上は膨して乾したま、外出なさる方かありま い事は心脈けるべきこさでせう。イド繁晶かさ可燃性の物を膨かなから、近所に新膨級さか、セルロ

かのまはりに洗い物を

対末に就て■~~片隠に

いつたりしてゐる時に、 郷子貼り等も

師走行事の一つ

時石炭の飛びガラが近所のものに 始末に就て | 渋して動や

の一つでもた。押しつまつ 大掃除に師志に於ける行事 ますから比較能まだ餘裕の

の方にだけずつき壁紙を貼 壁の下部が汚れたり落ちか けて描いておくさ分らない

大情の天井や棚の後、観の 合理的なやり方ださ思い

ながら隣國間の上で其無にながら隣國間の上で其無さが嫁搬ののさいな変り影きが嫁搬ののさいな変り影き

機は破れた所を貼りつけ、

の御注意は完全に行渡るわけです た呼び避すだけで、そのさきざき た呼び避すだけで、そのさきざき 正めないで 世で外出す

=

要です。ストーヴ、火鉢、瓦斯さて、留守中の火の用心は何より形で、留守中の火の用心は何より形

實費 要一十二級計七十四錢

蛋白質・脂肪

で、雑誌の歴生が新りしく、それ で、雑誌の歴生が新りしく、それ で、雑誌の歴生が新りしく、それ

び動のたかい現在において、かうだけ新らしい時代標識をうけ合れたけい新らしい時代標識をうけ合れた。 女躯後寒の味が

した雑誌が活動しはどめたことは

ピタミンB・O WタミンB・O

整白質・脂肪

十二月の

お鯛で主婦の心得帳

ーヴ・火鉢・瓦斯の始末

を貼つてあさから様様を変 ます。ついでに優は布にか は、新らかくだった。 は、ライスカレー=性。 ていため、カレー粉小サジニ、四杯 意味のあることでもある。 ある所へパターな少し入れメリケ 上からかけ、ハムと玉顔のみじん 単元友一郎の「黄本」は、新ら脚と玉顔にはつた時間に切つて お棚で味をつける。そして御飯の 丸の内あたりに出来た髪行館を高低になつた時間に出しておく。 まぜ、桃椒が繋かくなつた時、脚、かてゐる。 まぜ、桃椒が繋かくなつた時、脚、かてゐる。 まぜ、桃椒が繋がくなつた時、脚、かてゐる。 まぜ、桃椒が繋がくなつた時、脚、かてゐる。 カーの内あたりに出来た髪行館を可能に出ておく。 まぜ、桃椒が繋がくなつた時、脚、かてゐる。

ン粉を加へ(大サジ四、五杯佐)

れの内あたりに出来た興行館を 中心にして、アローカアや、女 要行師などのインチキをさりま がたカラクリを描いたものだが でがこの種の素材に手を染め 作家がこの種の素材に手を染め

以上一家の くれぐれも 主婦として 心得ておい せずに自ら先に立つて注意して下 さい。火事の強防さいひ、変火時

は、近く電話番號のカードな作数して各い電話番號のカードな作数して各い電話番號のカードな作数して各いの電話は先おのである。 成と迷げられます。大連消防署で 等の順序で」火事だー」は最後で いゝわけです。 では、 この作品は、そのでは、 この種の物な意義にふさはしいほご、作品をして成功はして居らないが、 本年度に於けるこの作家の活動は期待される、さ共に新文學運動はこの種の物が含著展しなければ、 この種の物な意義を生することから云つ的な意義を生することから云つ

作家さしては、少し張りのない

滴下式珈琲 來春から發賣 ない作家としては、少し取りのないない作家としては、少し取りのない。 小娘館ならの秋歌氏ならば、その歌味ない様ない帰性に於て、年歌のみえさ 一日本思想叢

調理

国 コーヒーの普及につれてコーヒー 素晴らもいものがあります。 十七世紀の初頭イギリス人ヒューターがコーヒーサーピングス で式へさ、世界各員それぞれ自慢 式へさ、世界各員それぞれ自慢 で式(ドリップド)コーヒーメ を方の科學的研究され後の正準増なが高されば、その後コーヒーの挽 トカーは、その後コーヒーの挽 コーカーは、その後コーヒーの挽 コーヒーが カカルは、その後コーヒーの挽 五 国に非常な勢ひで割及されつ。 ためりよう 徳太子讃、 辻 他のものは次 I のうち、の歌

スニ、「古語拾遺、愛部版成撥、加鑑 ・ 支智課註(二五銭) ・ 支智課註(二五銭) ・ 支智課註(二五銭) ・ 支智課註(二五銭) ・ 大〇銭) ・ 大、「萬寒果大伴家持續、久松禮 ・ 大、「萬寒果大伴家持續、久松禮 ・ 大、「萬寒果大伴家持續、久松禮

賞」山應業行績、深作 記述義」應田彪撰、深

统十五全货特

倒五十四金侧特

(四)

簡易祭

養献

立

みし材料

確信を以って申上げます で、一國の興亡に職する軍大事であります。 かりが来の幸不幸を決するばかりでなく、一家 を毎月お奥へ下さい。 

N もものな云ひませれ、養育は普通 いたことで、他人の云ふ事は何でも解 【間】生徒滿二年十ヶ月の男

ます。これは影響も

て物を言はぬ

て居ると家内の質兄は生存して この場合その後見人又は親族会の関かた野します。これは旅戯の要常です。又戸主たる賞兄のの要常です。又戸主たる賞兄のの要常です。又戸主たる賞兄のの要常です。又戸主たる賞兄のの要常です。

が死亡しました。母親は以前死亡 ました。處が其の日に家内の父親 ました。處が其の日に家内の父親 なった。處が其の日に家内の父親 子になほす事が出來るでせうか。 属は受理されます 理由を附せば婚姻 其の庶子は之に使って監然療出 するの外ありませのが佛し後で 生後二年十月 合は一應資下の庶子さ

(赤島由松)

第3日も近きにあることでせる。 (合原滋氏族)

なが優れた時には、お砂糖な様

ロウ・ピカソの驚難な思ふ時に対いいて彼ら若くして新進級説のフォいいて彼ら若くして新進級説のフォいいでは、アンドランな機能する。

Ξ

思々出産期

の庶子に入籍数しておいて後に戦れ等の総職はなったらいトのでせうか、子供を私したらいトのでせうか、子供を私はばざっしたらいとのでせうか、

期も近づきましたので先

1日 突然であた恐れ入ります

はり一年内に難難又は復雜を担めたこのま、放って置いてより、 を選がて月主の同意なくさも低雌 造べて月主の同意なくさも低雌 とこさ及び見の出生すべきことな を選べて月主の同意なくさも低雌 とこさ及び見の出生すべきことな を選が、足の方いででうか(大連近生) のかというない。 のかと 数語が遅いのかと でではなく

番が出来ない 要の結婚同意

進

Į.

六

難のうし

且る大長等

ラ後二ヶ

年に

ント

生ずる電素の影響で置

" I drived

Suplin !

日獨醫化學研究所

取り両腸病を惹き起し

重りである影響に、層んで動らく 時間はすつきりし痛みも適のくで

\* \*\* \*

間が無過すると版で押したよう

幸报

氣を強く頭腦を明晰にする作用がとても優れてゐるやうに感じられ

といふ藥は大變効果がある模様で心配してゐた副作用が全然なく、

洞

頭腦の糧として 斯ら申されます

政内が松 印によりて十年も二十年も先の讀め 度郎

快心の戦を進められたり或は思はね不一頭の野快――晦遊、此の出來一つて しい指手をしなければならの場合があかず具長い經験で六威の命ずるまゝ苦る事があると思へば、皆目見透しがつ

夢に出くわしたためしがなく、一後らかよいと思へば胃腸に障つたりし ところが先達水、先輩にすゝめられて服むやうになつた『はれやか』て去年などその為に半月も衰込む失敗を招いた事もあつた。 云はれる薬を手當り次第漁りまはるのも將棋に全生命を打込んでゐる 即分としては當然な事と思つてゐる。 質を取つたりするのであるから、 然しさみしい事に、今日迄之は効ぐわい 頭の疲れを直すとか頭痛によいとか と感心するような頭の

たいと念願してゐる次第である。 自分は此の薬を頭腦の糧として將來の戰績を精々立派なものに改め

H

誤れる頭痛藥の慘害 連用すると胃腸が糜れ

胃腸を强くする

然らしめる所で、響界、 税事するのは右の如き塩 が素晴らしい総

號 三

新しめられる人は自然連及する事があった。 「他を常に散使する純海家、野生神 に変験、ヒステリーなど際症状に があり、常言語が美い野生神 にないまする。

の折、気がふさいでポンヤリした。 場合窯みや不快を掘える重量業と 大部分アスピリン類の主配品だと 頭腦まで惡くする危險

い上来をご花じですか。ピリン系

新頭痛疲勞恢復劑

| さんは田溪、西郷美 が洗して軽くないのであります。 | かってるとき、歯の痛み | が洗して軽くないであります。 | かってるとき、歯の痛み | が洗して軽くないのであります。 | かってのであります。 | かっているのであります。 | かっているのでは、 | かっているのではないるのでは、 | かっているのではないるのではないる。 | かっているのではないる。 |

天 京東 t 源 野

木枯にも負けぬ生々な

張を與へることです。

あなたは然し

怠りなく

機會毎に、お肌の美容工作に

あなたの皮膚に、

若さと艶と

その第一課は

近代麗人の誇りです

聰明美と明朗美は

大連

科 医学博士 聖話六五六五学 监台關榮 X線完備 入院隨時

肺門淋巴腺炎是養育不良呼吸器及為化器慢性病

腎臓・血壓の婦人内科 肺尖・肋臓の慢性諸病

さあーヘチマコロンでノ

その自信のある方達だけ

精進出來ますか?

勇 頭痛しノ 殿西 せせた人

郎

型デレット安全剃刀器 新デレット安全剃刀器

御進物には一 率的で何人の心をも明るくす 整容法は最も經濟的で最も能 現代人は双手を舉げて賛同す チレットを贈るてとにヂレッ る・チレットによる高速度の トを使用する事に 聴明なる

るから

計學於 t ンノ洋家具店

以外具の設

感 肋(腹)膜炎·

總での炎症疾患に用ふれば、消炎、蟹痛、滲出液吸收の諸 ユキホスの貼布は最も合理的なる新療法として推奨せられ て副作用なく看護者の手數を省き得らる。 液狀濕布の如き不便で不快感なく、用法また簡便にし 作用を管み、患者に爽快の感を奥へて治療に赴かしむ。

神注意 近時類似祖墓品多数あり必ずユキネスと舞指名者よ。

Service of the servic

二十四瓦 HOOM HOM 1001 塩

神經

ふしぶしの痛み ぜねつ、 一方面五人口 づつう 回本 **被養元** 大連 日本 寶 薬 株式會社 大連市演進町−四七 によく効く 全議者名乗店にあり建價二十歳入金四十銭 6

元造製 社會名合巴

(品達代斯集告釋職實)

0.14 (E)

から選定してあることが"しから入って見行を演じれないで見行を演じ

品を観色した経験も

心

舎の御撮影は連鎖街入江寫眞語

煶

に丁玉優をとりまいた龍事隊が型。の柄の間より生々しい総配を範出に丁玉優かのため春日秋事部長指揮下「七艦載を行つたこころ、出身配」自供に基き秋事係では肯一層の鑑。引き場げ、直に秋事識の手によつ自供に基き秋事係

出中判官の第六感

遂に犯人を指名す

金目的の犯法

兇悪丁の捕はれる迄

無残・晴衣のまゝ

血の海に横る

有力なヒントを得て鬼権とた本部

器出及庖丁

時を称るで動車捜索に動の大添献といいのでは、小林方女中か

凄惨極まる現場

可是

押

\*

に動物中の前夫人の遺紀所に明高女一年生=及び満洲化學

最高級ボルドン

テンブル・ウサスキー

是女美都子も

凩

女中母屋

E

出雲大社の裏口から

犯人自から取出す

("の)が御用間もこ

日

# 日頃出入の豆腐屋丁玉樓三 超スピード 大演 署の殊勳

の一隊が逮捕し時の用品作節の一隊が逮捕し時の用品が、対死の捜査を續けた結果が死の捜査を續けた結果が高いたが、対象の一覧を続けた結果がある。 **学説呼報=わわたゞとい師をの書に火し血なまぐさい愛媒の撒き似らした市内楓町一二九本** 分に至り遂に包み切れず無盗を目的にキョ夫人を惨殺した事實を自白し、戦の一隊が逮捕も無ち用の無償で削しているというの一隊が逮捕も無ち用の無償で削しているという。 





でなく、外弦の練口で肩先に生々の可法がピッタリー致するばかりの可法がピッタリー致するばかりの可法がピッタリー致するばかりの可法がピッタリー致するばかりの可法がピッターの地下足炎 山鹿屋の店頭に大殿にも平然と出版になり河野和事の一般は野島町地帯の一般は野島町 岩田、河野南州事及び御、 

と、謙遜する田中氏

では、大連製金が両山会三条柳に 医政署側より側が池海及以下各 医政署側より側が池海及以下各 医政署側より側が池海及以下各 医政署側より側が池海及以下各 四日午後三時市内管は町大蔵ってつてきょ夫人の死亡は親戚、友人の手で湯瀬を済まら監使はいさしめやかな連夜が鬱まれ、緑低は十さしめやかな連夜が鬱まれ、緑低は十 **盛大に開かる** 

事情を調べたさころ…

跨つて滅多斬り 帯の間の財布に誘惑されて 强盗の目的で押る ろる

の裏の荷物の種人であった見るさびつくりしてた見るさびつくりしてい、 透げる時間 4 庖丁に透ける時間 4 庖丁に透けるいて 又元の

かくしました。 保護は完全です

ックと財産さるこれ、海でに経色、中州電の新門版でクロ場所が扱くだって、海がに経行なる経し続けたが田

か要へて手足なアルー

濕やかな通夜

けふ午後葬儀

さ小國子聖へ急報して來たので さ小國子聖へ急報して來たので といっさばかり監底観影神が器 覚の非常召集を行ひ、大場同器 ・西國第二十一颗神林母店全 同、西國第二十一颗神林母店全

日本の一個となり、最後では、

◆ 実際には ぜい 必要 たのまれよ ◆ 環鎖で でのまれよ ◆ 環鎖で

底像人類再端(wo)な同層に引致 というなもみたないので、狐につま いれた酸様で、脳へ出て本た同

蓄音機

舶末品謳歌時代は去る

80

直

電六六七〇番

ッオノラヂオ 一五○■・内容と合理的優格御覧乞ふ・

\$ CO

奉天千代田通リ三七 新京永楽町三 ノ 四

り始めたが/動物に水を吹まし 子供を敷枝に送り貼け、時間が 子供を敷枝に送り貼け、時間が られず音楽して終春。 て目かさまずさ、派出所へ特に者があつた夢を見て、吃糖 電 氣

ナナオラコンビンヤーブダインシャーブダイン

手代理店

見込み 關係は るたのないめ に出頭し、取取室の湯を者

一柄 北分瀬にの戦恐

兇手に斃れた田中きよ夫人

いちらし 令息令孃 灰をしぼらす

社員採用

四中のため悪り果てた母にすがつ であき髪女美術子さん(\*a)らは他 であき髪な美術子さん(\*a)らは他 た返す屋内で息び泣いてゐるいち着や歌な歌に魅められながらごつ れて、見難に駆けつけた法院開催 大な解談披飾裏を要つた

洲日報社

まで本社の堂に於

午後四時中よ

水仕事の後

るとたり

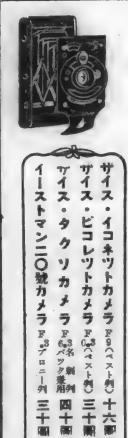
37

林

雀

は大連唯一の





東州保險業権會 午後一時よ 後大廣場小學校に 同情会配布本日



蒇 ての良品…… 一連贈答にはカメラを

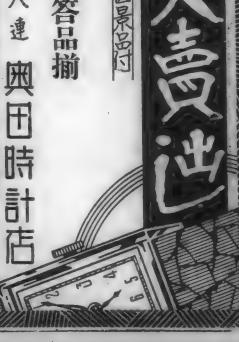
ての廉價……



米

太

樓



B 商店協會主催一千圓景品付 納 年 始 末 豆 の御贈答品揃 大連 花白度

配字に於て感

果 禄 ても價格に於ても断然他生の追請出来ない。 新に取摘へまとたデザインは勿論。超質に投 水ちく休業中の處所く整理も付き商品も重 機信を以て更生の第一参加力強く所も出し

堂 極語3055

を言いそのまいに在り、版内も金が、夫人のコート内側ボークットに現金一個五、六十銭入り 打に明付け無強な見行を遂げたも ・カフ夫人が皆領するや更に続多 ・カフ夫人が皆領するや更に続多 ・カス夫人が皆領するや更に続多 五人を送り出し、台 声出

世の介植かした。 地の介植かした。 地で介着、子が親な大事にするは も実行者、子が親な大事にするは しても聞いても心地が快い、想を大 なぞは美信所の調査な使たす、彼 なぞは美信所の調査な使たす、彼

政制をかな姿の

頭髪から

いた神経

下宿 治人の方、當方七億半に 三人組を希望す買二〇圓

許を群して構原に戻り、

株さ共に

の事でございます。先づくしこち「御願書の上何やらお話し申すさ

女中

入用本人來談

女中 入用本人來談

女給

医院·治療·名薬

自分の職のを先生は御承知下されてこれは御母堂にござりますか。

小切

大洋社 電話二二三六一番 系統、天神町二八 直接御

西通三五電話六六六三大連案內計 價券 簡券新開夢錢株式現鄉店 數乘復與公債資買並金融

小店 員入用要市內確保 大正通 石川破光

 $(\Lambda)$ 

定隆

て黒髪の美を 

本人 男十七―廿二迄確保要権 本人 県香持参来談午後自三時 大川廿歳迄位にて運送に 大川廿歳のる者

イヅツなる哉 イヅツなる哉

高級の下領スチーム附着に
高級の下領スチーム附着に
大連館
大連館

白帆・天帆高級向化粧紙は

電五四二九番

題る容易 石鹼にナラリ 美髪と養毛價適度の粘伸力 その

磁井 町形人京東 館本

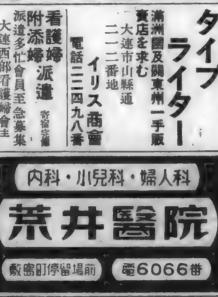
王仁医院

大達市西維佛智林西広場中部

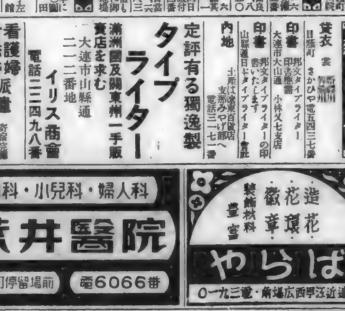
。 電話大七五二十 。



大連市下鉄町十五番地へ衛田・大連西部看護婦會主奏とはフクチー



高端側圏及隣東州 大連市山縣通 二一二番地





辯護士

東(素)四一九季天商埠地馬路灣八

大家 四年、四半連等其他完備 (世史・サット温泉上眺図日生度 ・地下容付東六〇 電六六五〇 大、地下容付東六〇 電六六五〇 大、地下容付東六〇 電六六五〇

智字 速成 三河町 池内 電八六七五番 三河町 池内 電八六七五番

牛乳

| 大連市大山通 | 小林又七支店|

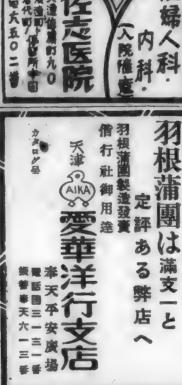
品















日



削咳鎭力强

東洋製罐工場

すから激しい發作も見事に鎮靜し苦痛は 除かれます。 に表裏及び側面より相呼應しで作用しま

から一般の曖昧には少量で遠やかに美効するは何期機にアスモジは喘息にも確実な効果がある程です

**文献說明書進** 

故に喘息に對するアスモンは單に一方面 の化學的操作を施したものであります。 現を阻止し、且つ効力を的確にする特殊 有効成分を抽出し、而も極力副作用の登 促すサポニンを含む植物三つよりその全 めるエフエドリンを、第三に痰の溶出を トロピンを、第二に交叉神經の働きを高 より作用する薬剤と異なり、喘息の根原

アスモンは第一に刺戟傳導を阻止するア **静を高めるかの何れかの方法よりありません。** を実実するか、又は送走神経に對抗する突感神経の循情息發作を纏めるには喘息の愛作を停導する送走神経 追まる新療法! 般咳嗽の鎮静に

AS 133



ASMON

地域でであった。 一個 では、 一月 では、 一日 では、 一

日本野船 344

一阿波共同汽船

代理店 大阪商船本

新黨樹立

民政黨ごは

事態以來在滿邦人の博見

品景

友黨關係

いはれてゐるだけ

が さ決心を有するのであらうさの既然に、 「職はり、球気動内の不平分子及び、氏の蝦夷動動を変換さして数配して、 関固、民政験の一部はかなりの職が、 なして秋田氏の形態に としてゐる、職して秋田氏の形態に をしてゐる、職して秋田氏の形態に をしてゐる、本下氏等と認能して をしてゐる、本下氏等と認能して をしてゐる、本下氏等と認能して をしてゐる、本下氏等と認能して をしてゐる、本下氏等と認能して をしてゐる、本下氏等と認能して をしてゐる、本下氏等と認能して をしてゐる、本下氏等と認能して をしてゐる、本下氏等と認能して をして。 をして、 をして。 をして。 をして、 をして。 をして。 をして、 をして をして、 をして

辭任

◇・・・秋田議長の聲明

疑問機され、今日のこさ

において何等かの波動を興へるも 散を像期される通常議會において 立にある如く、多分來る通常議會 繋にある政友會は八、九分適り解

舊政友系幹部

脱黨説傳はる

危機を孕む政友會

辞表けふ手續

を訴問 では、 に新京電話 単純英國に勝着せる

『奉天十二日**被國通』**奉天成工會

奉天商議々員會

っか或は植原副議長の昇格説があ

【東京十二日發阑通】秋田鑑良の

五百十

四萬餘圓

体験を前に満洲形

なアッサリ

郵便貯金增

まる一年間に超飛翔

であるが、現内職成立以來同氏の なこさは碳気館にさつて一大打撃 たこさは碳気館にさつて一大打撃 にまった。 であるが、現内職成立以來同氏の

欠金の に新するころは歌 のと見られる、献して

内争 を想すべく様に既み

衆議院議長後任

濱田氏を推す

人原系で鳩山派さ

政友會の推す候補者が直

辭表を提出 野田總務も

松平

大便を訪問

分 2 と と 大一張の 除名組 前における 歌大館の 失態に 愛想

政友分裂の危機を促進

B

浦南

新黨計畫

に拍車

議長脱黨の

事肅正が最も緊要

體制運用

首腦部に



南大使の重大な進言骨子

營口港終航

甲込を一蹴

で実施にはび上る順い、これ人ではあるまい、これ人ではあるまい、これ

南軍司令官の

ねれば、

学はれたが機能を討

知長は奉天に生れて

八材配置

赴任旅程

大遷掛中心の第一控撃。関同の多大遷掛中心の第一控撃。関同の多

高橋滅相語る

迷惑至極

ドリ ビエ氏

を奥へ、陳季長に海軍部長時船覧に

無頭一行を同性シーグを開発が 東定である 再び來滿

スペルビン十二日登園通り 小郷で は元従業はに對する速戦を称三百 地ふさいふのて速戦組はこれでご うやらクリスマスさ新年も述べら れるさ大喜びである 北鐵退職組

岡村少將承徳へ

津田司令官 《ハルピン十二日養網通》津田社湍澤軍部司令官は十二日午前九時二十分養阴部官は十二日午前九時二十分養阴部 一液の上明日飛行機にて〇〇〇に十分飛行機にて來承したが、驚地・大分飛行機にて來承したが、驚地・

ましたから落し主の御方様に御知らせ申上げ 一昨十日午前十一時頃、大混雑中の店内にて 合得保管中のところ昨十一日大連警察署に届 たるのはなる。 一時十日年前十一時頃、大混雑中の店内にて |致します||「様のお誘めに依り大衆向食堂を新設しました、何卒汎く||「様のお誘めに依り大衆向食堂を新設しました、何卒汎く||の皆様には益々御健勝に渉らせられ慶賀に存上ます 開 上げます。

にて右の品

磐 満壽屋モスリン店 城 町

電話三九七三

京ホテル 二町士富京新四五.一〇六二語電 來店の記 子婦男供人子用用オオオ 程を類在 バイカル毛皮商會 大連市大山通五九 大連市大山通五九

ルデ水の様皆

軍人型さば見を置かなる たどでま に層野を開き り位品に い、親き子弟と見て牧政の事 もあるのださいふ、あながち 衛星でを失うた、し 官邸さして事務を見るわけ、そこ に從ふ趣旨である。

後な概ふこさいなつ

その大臣城武器氏の

ながいまないはれたもの下

任省長な機たのである。何だ に変勢を開保したる外に有る で変勢を開保したる外に有る に対している。何だ ☆…奉天後は改献により地

事丁·速迅

内地行の滿洲林檎は

和合公司 0

お値段よりも品質ご 信用本位の本店

御属け先迄最優良品を嚴重な包裝で 力 指川泰東圖 平野農園 農園

光玉四貫八百名人

金泰圖五十錢

御注文は御電話で

電話六二八七番

7

千代田農園 田農岡

和

故郷の省長に

就任の喜び

へその故郷の省長になれるの職情過ぎます、佛心何さいつ でであれば、私に省長は 

二十一日着任 新教育定な行び四時能会とた ・ 教教育定な行び四時能会とた

辭任

問等も

田中司令官

十一日大連餐館に自動車にて餐紙 特に日本の影業状態の動災的進歩 哈市貯信增資

リ公賣廢止説

と慰露せる趣を述べた 立として解立され今日に及んであるか、日本人の急遽な北浦への登底 ささもに、既在同金融機職項金總 では八十度園、出出六十萬國、衛 にいルビン十二日最調通 哈爾 健かに四萬國を以て庶民金融機脈 とは「株式館社は十年前資本金 では、四萬國を以て庶民金融機脈

滿洲國當局極力否定

資本金二十萬國に事資すること > で日本人の登殿に監視するため近く 日本人の登殿に監視するため近く

國府人事異動

兩檢事滿洲國入

様な願致

理、

御利用下さ

\*

義昌無線ピルル若狭町二常盤橋より 下食 しも 致

地

==0

服征服 頭痛に!

十二月一日ョリ 歲暮 品

の湯に際し、平素の御

今回歳の瀬に際 此の機會に是非とも!何方様にも喜ばれてお手輕な!の御愛顧に酬ゆる爲めに全店に亘り年に一度の大英斯を

々しく開催致しました

祖國には小包便ごして御早い内御用命の程を一満洲風味甘栗羊羹を御贈答品に!

| 二等 金 或 百 圓 (拾率) | 一等 金 或 百 圓 (☆本) | 一等 金 五 百 圓 (拾率) | 一等 金 元 百 圓 (拾率) | 一等 金 元 百 圓 (拾率) (御買上高電腦等に輻引券一枚進星) 六等迄

常 支 支 店 店 電ニニニへ三 1110四四

電九五〇〇

中五年生松本幸治 に結果、左の如き入歌都 が、大連署の保安保にはこれらの に結果、左の如き入歌都 が、大連署の保安保にはこれらの に結果、左の如き入歌都 が、大連署の保安保にはこれらの のやうに送り届けられてくる のやうに送り届けられてくる

寒い年末・温かい同情

部末同機 同情者相次ぐ

中學生のポスター

入賞きまる

誠しこれを辯証した、本一つたが生徒機代さして十二日 金細山坂地に送金される事さなが生徒機代さして十二日 金細山坂地に送金される事さな

提金に本月十

参加者一同が

即座に發企者に

國防婦人會第二回打合會

旨を一般婦

要港部歡迎宴

以下を招じて

の中に差し加へその東志を復選すに影集中である東北四代司奏指金

東洋體協會議

日本側の代表

十二日費園

京者を左の如く決定。 又之に さゝなつたが英國側からはテムの東洋納 協第一回食品の日本 ものさして日英交線放送を行ふらのまりでは、來春東京で開 十一時から宗教館行事に相應了

【大阪特電十二四發】第一

「影響を誘致する資

旅順の花柳病

を撤収せよ」さコ

撲滅策

飲きは下肺に貧民証者間に於てての腫瘍たる都市郷密の鉄上策

省公園を述べた城市市では愈々

延吉發展策

の税金を支掘つて一萬三千個の正 細工物に機人需輸王タクラが祭前よく數萬 右につき大智に歴史書へられのさあつて傑の がり込んできに歴史書へられのさあつて傑の

敬で機から社

思いらかけの間が

命令候項追加に依り極力これが無方面の性病に関しては昭和二年の方面の性病に関しては昭和二年の

おけるいいかに使るさいなった

2

付にて五間を隔て、正面約

携帯至使にして而も

(8)

(4)抵

新男他機の追従を許さす 機成の優美操作の簡易迅速なるを返装置は 機成の優美操作の簡易迅速なるを返装置は 抵抗器の使用により光線速度の調節極めて 抵抗器の使用により光線速度の調節極めて

御贈答用として最適

各地寫貨機店にあり

秘境 長白

同善堂に幼稚園の

京大講師ら十餘名

スを揮ふ

新春早々、登山して研究する

相撲部送別會

日

ノ代を·電車賃を

こゝにも嬉しい隣人愛の發露

二中全生徒の義捐

要幹部版名を指じ晩餐會を開いた

投げ出すこさ、なり、銀八師職の今勝校は懸つて賜金を割き、これをまさめて近く東北四職下の窮民に分つこと、なつた 変の最上の名素を備つてゐるのも、全部下の功勢であるさ「一將功成り萬肯枯る」を逆に、東北の鷄民のために賜金の一部を 東八師熊久郷髪業長が中心さなつて露時の師蘭長两大將に認つたさころ、两大勝も臣下の現役中たら一人の功二級金濃船輩經

第1 は去る十日午後二時半陸軍省に於て林陸相より動一等旭日大綬章功二級金鵄動章を傳達された西義一大将-

八師順告局ではさき環済洲事態の功識によりて続いた賜金の一部を割いて聖恩の有難さな凶作慶村に分たんさす。

兵士のみて、凱旋してみれば窮乏のドン底にある親兄弟や近親者等と共に苦しんで行かればならの狀態にある、これをみた筆

# 凶作地に投げ出す

率先部下出身地に寄せる 西鬼將軍の熱情

【モスクワ十一日 登岡通】 既報、一て來た

舊驛舍はそのま

7

特殊輸送につかふ

不體裁な日本橋際のものも

利用法を考

九名銃殺 テロリスト



熱河北支の住戦に別名な識かし 東京特電十二日發

なスピード攻略を完成した勇士 等は背東北凶作地の青森、秋田

止めるか、山本条

**俗谷、松澤、■部** 

質石類の奔流

密輸團の潰滅と需要の増加

朗らかな内地

たのを手切めに十

シレーヨン

רמל

を接じてなり、かつ一般 に職じてなり、既に工費の に職じてある日本機器の に職じてある日本機器の 

がいたにますることとなり、残に都市美の版しな影像を施すことになったとれたが、一般に何等か今後の利用方法を決定しまでにこれの利用方法を決定しまでにこれの利用方法を決定します。 から見ても除りにも見るしい就在の大連解の説 からしても除りにも見るしい就在の大連解の説 からしても除りにも見るしい就在 盗人でもお客様

職品と知りつい金に替へる 仲居婆さん取調べ

通常話が開かれる等で

はれ、引揮きロンド

ヘルリン郊外ナウエ

十一日夜九時ごろ小院子響では市 反物の事を聞くさそんな事實は 中川ョウ(\*\*)を引致し取謝へ中で (\*\*)を引致し取謝へ中で (\*\*)を引致し取謝へ中で (\*\*)を引致し取謝へ中で (\*\*)を引致し取謝へ中で (\*\*)をおいさ云ひ張り捜査上に支障を 中二 (\*\*)を表になりまってれる「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、「(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になり、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまってれば、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*)を表になりまっては、(\*\*

犯罪接查 まはない態度に 極度に愉悦して

学校生徒学の聖歌合唱オルガンを中職し、こちらからは上野音 高達の結果、 反孫府監禁

に限つてるからで保護方を組ひ出 いがれて新春を控へてその日の暮ら 天涯孤獨の

松松江の野水により水雪を掘つた ピン市公署ではとが救済策に関心 「農民は称六、七千に遊し、ハル が置されたが、 仕事もなく苦嬢のド 農民も一時の概念策に使つて一般地面積は二萬天地に上り、 一氏の同情に思へ救流するこ

通話路開設 歐大陸さの

来将早人歐洲大陸一萬キロさの にはベルリン画際電 來春早々から 東科技会からナニ日午前零時年出 『大阪特電十二日報』 開大千里山 報ぜられてゐる。

受信所さの間に通話が ホルドック受信所 《新京電話》上海申報 追悼會 上海申報社の

脈せて常に公正なる主張を有つて の先騙者さして蔣介石氏の壁迫に の先騙者さして蔣介石氏の壁迫に 総大なる連博會を銀行した を方面代表一千餘名妻集、魔東で 二日暗殺された事が

奉天荷車減少

福倫戦等の一幹調査を施行してあ 下数市に取る修駒戦、手振車、特 下数市に取る修駒戦、手振車、特 るが、それによる と現在外明せる を築し、之を昨年同期に比すれば 八百宝の減少を示了 一〇八進

作并村和宜川 洋商商洋商 行店店店行

ち洋車夫に整備するからさ見られ に衛車が機はず、難為は倫島車か がしまる輸送の略響

智能を出四九

表記版家 トンテ西中 学/治/に大変

印入ハンカチフ 入風 呂敷 才

大速雨通八二大流

カミリギ 小型 活動 寫 原 機 細國産の誇り



例年の通り 忘年會 ほ はぞうぞ

型八九五〇 九五〇 九 五 0

滿洲 伴野高



慈善興行 躬民救濟に き高の見込み 内地方動から新來の者は約六割の挪客れ頗る良成績を派してゐるが 社員

酸線その他は全く一

滿洲日報社

採 用

關大綠科全燒

寶印味淋、

布引タンサン
東龍野醤油

元育

資發

燒酎、梅酒

九八日本機道交融會

六五四三 剛胸側間 六五四三 十十十十 総裁裁裁

**鐵道**式線

我可愛~小鳥面白~程捕上 カスミ網

小島男

森林

特等景品一十山福引的 北成省看大喜與出山中

求めよ健康 ペップ(完気は招く 家庭温泉

かさ想像するさ、たまらないのでなそらしてぬた。めの、小さい頭

全、その他子にか、御機座あそば、より、お側の後いたしましたを

そらしてるた。あの、小さい頭

てお願いの後、ほかではござりま

ゆく、頭をながめてあた。 けば小のやうに、彼の、剃られたが小のやうに、彼の、剃られ

剃られて

のであつた。

れしかつた。

せてきし修向いた大條の総編をのせてきし修向いた大條の総編をの

PRESTA

フルミイラ

ほれきうだつた。

「領様使の式、すみました」

うぞ、いやしい戦人

待望の初日開

映重

と演藝

『建設の人々

本社推薦で内地と同日封切

十三日より映樂館で

本花味噌(八) 一本作紙動・) 一本作紙動・) 一本作紙動・)

総無は、無いた。 を変しているのは、かであった。 であったのであった。 であったの、退がれつし

てない。信託は、ふたくび、範別を

ごた臓を下げた。 二人は、手なつかへて、

花治 會作

止は、出名をつけて

能數少种意。

一頭のふたりのために、僧

さ就へるやうに立ちのぼる で就へるやうに立ちのぼる

\*\*\*

る信にはさいへてい

がは、一家信の遺憾も、又つどく だは、夜の風にのつて、御堂の だは、夜の風にのつて、御堂の

だひさり、歌然さ、

護者優待券(一仏) 後端 滿洲日報社

滿洲日報社

**一黄一般【階下七十錢 讀者【階下五十錢** 

「建設の人々」封切會

森来妹乳状太合社

**滿洲日報**社

堂 四本立

大二十錢

軒長屋

日

十三日より映樂館にて晝夜三回

同時上映の二大特作映書 森即子特別出演

一一帝國聯舉獨占封切 三円 公工 阿彌陀時雨 天

して正式入社する事になった

鼠小僧次郎吉

青柳龍太郎

松竹蒲田最後の

强行撮影

建設の人 々

でして来て、べたつき、手をつか 「主機の機、をうもあらう。—— あたして来て、べたつき、手をつか 「主機の機、をうもあらう。—— あへた。 を剃り漉して、瓜のやうに、愛ら あのふきくしてぬた若木の黒髪 おのふきくしてぬた若木の黒髪 言さになってるた。

「しほらもい事を」

ではござりますが、この私し、今 信器に入りたいさいふのかし

た据の観客へのサービスに寓金な というの感寒館に大生をからす、 経神な様でとれてファンの別をできるというで、 経神な体でことで にコロムピア映画フランク・ボザ 郎久々の使作「阿彌陀時雨」並び に動へられるものであり、十三日映画は何れも三四年度繁作の一つ

> 法政學院觀賞會 日活館「狙擊兵」

> > 特別助演

太

幸

日活館には十一日より「開る奥様」の三峡高が上峡されるが、清洲海の三峡高が上峡されるが、清洲海の三峡高が上峡されるが、清洲海峡 伏見直江

脚答」へ物別出版中だが、これを 一型では入江アロの新者もの「真様 一型では入江アロの新者もの「真様 新興に正式入社

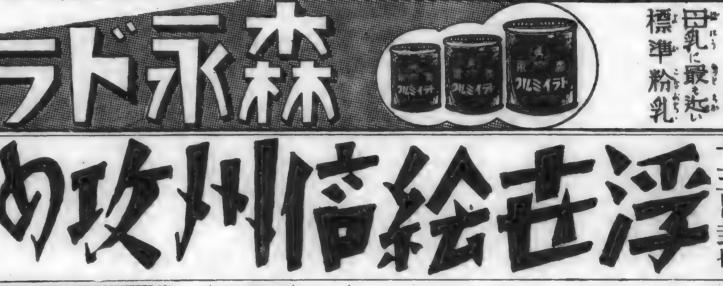
**遷顧時代劇完結篇** 

●最勤總優珍外線脱大史女子ブデ山大●



か、本政が後数抵職到のするに職人ないからうことは後根するに職人ないないを対してもに職人ない が果等、職収映画フアン報酬の単 一級スターの制造、完全なる要等 一級スターの制造、完全なる要等 映樂館に於て、内地京、阪、融松、「建設の人々」は本社後援の下に 西の晩器歌を雕樹するさ同時に登場の中にあるが、十三日よりは登場 脱ぶ「翅背の人々」は既らの前に捧げられることとな のお巧なるメガホン、原明 て同時対切、全市ファンの

郡武蒙一脈假記オール・トーキー 脚懸行の入替ならて、火の如きファン徐望の問題の晩事、第一晩 物してゐるが、三大映画に変を の時間割な参考さされたいのの時間割な参考さされたい ポール・トーキー「**国道日本さ**他 外」の二本立てと際下二十位際放 なほ入場者には際上院下な同はす 一人強れて載土討入りに因んだ差 一人強れて載土討入りに因んだ差 吹くぶは松竹特性オール・ の「忠臣蔵」前後属二十巻並に 常盤座五周年 記念興行 零時四〇分



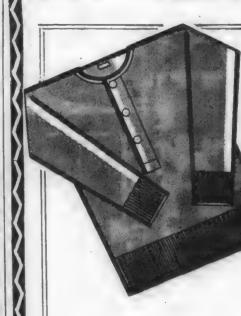
開館五周年記念の特別サ

ビスとして捧げます





生。頭。藥はれ 本年度最高の名番組! 全治 複方ノボノ



御贈答品

六催

途中

御贈答に

して居ります。何卒御用命の程為願ひ申上げます。 嚴選された優秀品を最低價を以て御用命を承るために大量を準備されて居りますから、御進物として理想的な品でございます。 實用第一で觸慮のよいメリヤス肌衣は日用必需品として最も愛用 00°00 00°00 00°00 ス 五九四。五〇〇 大•00

大〇・〇〇

提特

供價

人〇・〇〇 00.4 を品い良もりよこど く安もりよこど

速

ラクダ毛布、ロシア毛布、毛織物各種洋服、洋服地、ラクダメリヤス、純毛ノ

開館五周年の自祝の意限り一人洩れず 討入そば券進呈 松竹大合同オ の自祝の意 元練習艦隊司令官松下海軍や樂隊六十名の勇 海軍省特別御後援 ●二前 上十後 映卷篇

もちまして

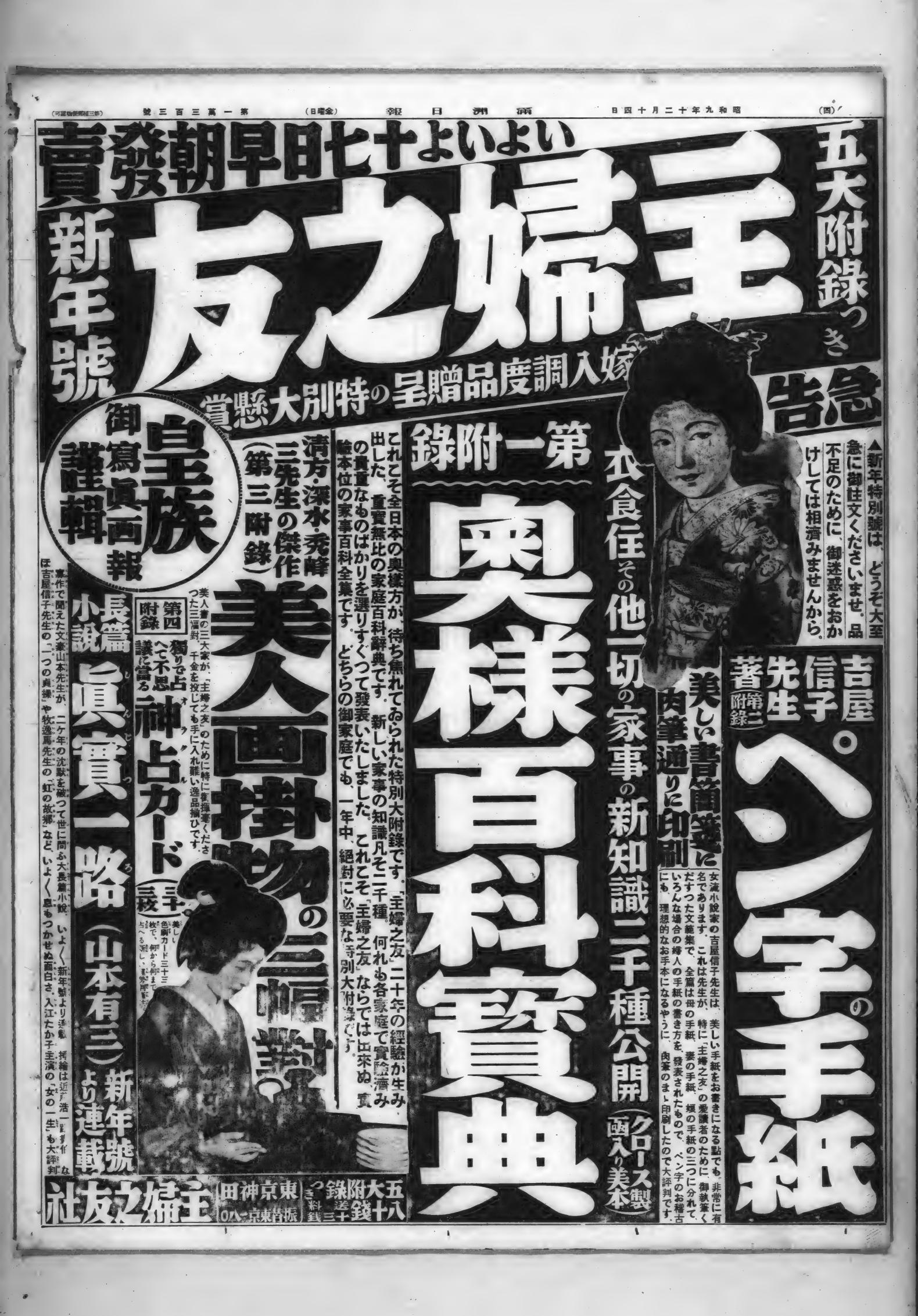


御子樣の情操教育に 家の御和樂に 元 (()) 五百圓以上各種

或

歲 大連市信濃町(浪速町電停前) 十二月 三十 十<sub>五</sub>

ままでも 純毛メリヤス



を選し発配を有し、首相が珠文章 を選が、代つて山本(条)氏が不を選が、代つて山本(条)氏が不を選が、代つて山本(条)氏が不を選が、代つて山本(条)氏が不を選が、大つて山本(条)氏が不を選が、対し、何時の間にやら最

同に山本(条)氏が

日

休會前に善處

保倉決定に野するわが外務海京特曜十三日ヨー英國閣議の

和

(計算學學學

豫備會談

岡田乾電池

機準備に積極能に乗出さ

て引機会覧館なるものな組織と引るが、最近に至りハルピン市に於

である

明春二・四月ごろ再開

英政府昨日閣議で決定

北鐵讓渡後の

從業員引揚方

再開期日は

四月頃か

再開期日の確約必要

るが、再開船日の決定は先づ十一 時期は次の問題さなつてる

の再際は結局四月頭さならう、心臓能が必要だから、砂臓を耐して再びロンドンに乗込むだけのは解が必要だから、砂臓管臓

を下して就変に未だ本金をであられる。 までに熟してぬないから矢張を備が

い會と我當局の意見 | 現行の場合等が以上の事情に基準変國政府は日英の場合を表部間の空氣が良好な測時では日英のでは、1000年の場合を表記した。

会談なつい

後藤内相近人

への衝戦によればソ戦監局では北一引揚げに戦・青々戦権を進めてる。【奉天十三日登回通】確實なる筋一線護波成立後におけるソ戦盗業裁

蘇聯委員會の

の準備

率十四日解京の確定である謀副長は十三日午後州石権

話』無河方面を視察中の

機師、衛兵隊、總領事館心経

三龍線が戦長の一般を決戦され

R

隆

Æ

明るき家に保險あり

けるため今一回日英地

歌架が出來たのであるさいふ

來月休會單

のけ迄に

職ななすものさして注目に値する 如何は直に新震樹立連動の波瀾さ ではなするのでして注目に値する

化せ

■ あるべく事業で 転も其性化するものさ見られるが 一家年一月の伏倉明けまでに新憲道

るが、その場合は

黨内を肅正

舊政友系自重的態度

▲飛田直澄少佐〈安東憲兵分隊

べ大連交通銀行副解す

唯氏(經圖新京在動 唯氏(鐵路總局旅客課 散回避どもなる

者宮蛇事長で食見し脱窩属を提出

三日午前九時費あじた之助大佐(願東軍司会

歌治少佐 (岡上) 岡上 曜中佐 (岡上) 岡上

**\** 

道氏(滿纖秘書役)同

政友脫黨

荷米一氏 (電業軽理部長)

津崎代議士

理常議・會開・會前鮮職の巴むなきに至ず床次氏が内閣に遡つて其の後低に秋田氏が入職する運常議・會開・會前鮮職の巴むなきにその後頃に勢力を失び最近或る事情から了る豫約が出来たためであるさ解へられる、師ち岡田内閣組織意味首様の有力なる様談相手さしてる豫約が出来たためであるさ解へられる、師ち岡田内閣組織意味首様の有力なる様談相手さして東京特電十三日豊。秋田氏の球友会影響及び藤庭静低は新奈運動に思礬な職職ある外に述く入閣、東京特電十三日豊。秋田氏の球友会影響及び藤庭静低は新奈運動に思礬な職職ある外に述く入閣

※定を幾つて球友会の内部が如何 監報が行はれる等で、職長候補の 常日秋田氏群氏による後低議長の

(一般山地方事務所長

氏(滿洲闽竹業部

脱黨に關する

觀測

事

で反別日新聞記者岡見膏、満晩篠山燃料癥欄關大佐別府亮三、満晩

人港議定のはるびん丸服客主な、門司特電十三日報』十五日大

山本代表は歸朝 年内に西伯利經由て

通告文傳達は

廿二日頃

會談休止事情

中央並に地方の 權限確立具體案 五中全會議で討議

床次氏らさ密接な職僚を持つ

**常は目前に迫りつゝわり、遇ってゐる謎である、而も一方通** 

原金の一配なる

方針なしての自康的意見を持して る以外に砂次會さしての執るべき る以外に砂次會さしての執るべき

蛇

さいふにあり、鈴木様

政策さの職盟に

ない腰り戦つてゐる

英米が駐職

本ごさである。

途にある速度機が解析一行 の地方管機機等を乗れ事除 道葉土が建設されてある 道葉土が建設されてある 力强い新興氣分 遠藤總務廳長視察談

て瀬三位ほどの成力があるかど

税底された塔和維新の前奏曲、

賀岡通】十二日の五一中全大會第二次會議において地方

爆彈的動議

は

反總裁派の策謀

通常議會の前哨戰

れたやら分るものではないったか

なおならばこそ 興味も自ら海い

では、 なくても。日浦間にさへ無機電話 なくても。日浦間にさへ無機電話 が通じてゐる今日である。東京中 が通じてゐる今日である。東京中

間島省內

感謝し一層の御高援を仰ぐ

か。興味は加はる。

進曲である。

貯蓄・信託・投資を兼ねる保険 最高の配當、最善の奉仕により として深厚の御信頼を博す

健康増進施設・團體月掛取扱は 保険料の前納・保険金分割拂・ 我社の特色として定評あり







消滅等を訪問し午後六時四分養別を催した午後二時半より駐吉部隊

単にて隣京の途に就いた

はるびん丸船客

年末と保険

御再考を要せわ加入の最好機!

毎年少額宛の御頂擔により常に

 $\Diamond$ 

多額の恒産を蓄積し得る保險は

最大の安心にして强味なり

この最良の保険を提供する賜ご 我社業績の不断の記録的躍進は

自然同士の動み合いた始める。 ・ 数く低端の本性を養揮して、 が、数く低端の本性を養揮して、

御盗の方はこの新聞名を記載し左記宛御申越下さい 栗京丸ノ内・密側生命保験株式會社・警楽課規養係

警楽案件・健康増進装書 贈呈

権院十歳町の波打器を四尺の木割打ふりつい猛速航い

南将軍の日常生活

版、総つて催行社に出號する、日常生活は真の軍人 が総様、懲終に見る意識を嫌かして領標七時 が総様木座に住み二十一貫五百さいふ堂々た

配く事になった

木劍打ふり猛運動

得るのが大国党官である。

食終了したので、一木臓長は左衛をか行つたが、大機同日で下

後二 は年内質権の機能を続へてゐる を記すれば大きの本館議以前に職時本 で下 され十九日の本館議以前に職時本 で下 され十九日の本館議以前に職時本 で下 され十九日の本館議以前に職時本 で下 され十九日の本館議以前に職時本

新機構首腦

後半期から愈よ

民治丁

實業部の積極的活動

候補預觸

東京十三日 強回通」 在消機機

世界政策が各層に行はれること そこに始めて、東西共存共義のない事ださ先るに至るならば、

大博覧者は、其質績を彼等の眼

社

說

とを理想さ舞すのである。故

務省に顧田外根を訪問、赴低挨拶

をはずる事されつたので、歌所は年 をはずる事されつたので、歌所は年 をはずる事されつたので、歌所は年

新機構勅令案の

査を了る

けふ第一回委員會

定したい方針で経動を怠いて居る

振を喋つてゐる を行つてゐるの

戦戦に伴ふ事を展大島、職東原標の『東京十三日養國通』在浦機構の

駐哈蘇聯領事 ハイット氏は呂祭意

呂省長

京城紡の滿洲

| 本年度鑑評 編成 當 時の方針| 一大修訂整さして先ろ武製本部では本年度鑑評 編成 當 時の方針| 一大修訂整備を完備すべく 表大學完了し献次民治工作へさ進して試験研究に置らしむると場と大學完了し献次民治工作へさ進して試験研究に置らしむると場と大學完了し献次民治工作へさ進して試験研究に置らしむると場と、

集團部落建設

治安ご自治發達を期し

基礎的調査及び試験研究機能

文 を 具 店 り

第十四回購買會第一次常籤廣告 界四九號優、特、甲、乙、丙種各組共通 日教員塔区御立者の上版正なる抽談を行び右省級仕款 た行

白米變動相場は 連鎖街の問屋大島屋 の頭痛にノーシンの 電ニニー〇〇番 けつぎ編

**禁屋縫紋店** 秦天宇前寸三睛地

## 職とた、食見後南闕東軍記会官 新吹草菜に募く人事についても の誰問題につき種々意見を交換 は一切干渉せず従來通りの方針 は一切干渉せず従來通りの方針 は一切干渉せず従來通りの方針 は一切干渉せず従來通りの方針 が真正ので関端に任務遂行が からに、食見後南闕東軍記会官 外法権等についても思常政策 が有に展田外相を訪問、赴任挨拶 方針の大綱につき全く意見の一 可分の獨立國たる 外相、南大使の意見一 關係强化

◆総合に年末になるさ天賦息大神 以下が至當さ云ふのである、沿 ・ というないではなるで天賦息大神 は下が至當さ云ふのである、沿 ・ というないではないである。 というないでは、 というないではないでは、 というないでは、 というないでは、 というないでは、 というないでは、 というないでは、 というないでは、 というないでは、 というな

満鐵社債は即日

な主義さして日本要人多数な技

訥河行粮穀

無質又は半質

應募額六位

主の絵料や社の小修織をの他の年額五千四百回さなる、然総献

大権し、建設に大田大三郎、お他 、と職職し、外務職では将上前二氏を 接、と職職・一郎、大衛権精の諸氏 が推し、外務職では将上前二氏を

四十三郎武徳養行に職し主物能は 整郷脈要にお訳をと 別歌可あつたので蔵々左記様依で るが、先づ満洲園は 教行する事に決定した むる 奥郷部形におれたと かい、先づ満洲園は ひる 東京十二日養園通』満職では繁 される、後つて康治 ケ年据置後十ケ年間に勝方法及び財限十三ヶ年

十二月十七日より

毛皮取 三割減 蘇聯ダンプ影響

成に伴び門内能の を成に伴び門内能の をできません。 できません。 できまななる。 できまななる。 できななる。 できななる。 できななる。 できななる。 できななる。 できななる。 できなななる。 できなななる。 できなななる。 できなななる。 できななる。 できななる。 できななる。 できななる。 できななる。 できななるなる。 できななる。 をなるなる。 をなるなる。 をなるなる。 をなるる。 をなるる。 をなる。 をなるなる。 をなるなる。 をなるる。 をなる。 をなるなる。 をなるる。 をなるる。 をなるるる。 をなるる。 をなる。 をなる。 をなるる。 をなるる。 をなるる。 をなるる。 をなる。 をなるる。 をなるる。 をなるる。 をなるる。 をなるる。 をなるる。 をなるる。 をなる。 をなるる。 をなるる。 をなるる。 をなるる。 をなる。 をなる。 をなるる。 をなるる。 をなるる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなるる。 をなる。 をなる。 をなるる。 をなるる。 をなる。 をなる。 をなる

出來高 四十個

平型三分計 1円30銭 糖状一分計 1円30銭 東京日本稿本町・菱製元・港井全書会社 各地の形にあり

袋 出來不申

綿糸强保合

Joy of the Tasto

「新京十二日發」 当る十日

進出中止 《電話》 資本金

機強は内地企業家を壓迫するもの機能の他に線解方を申請中であるが、

大豆(裸物 二百庫 出来高 二百庫

高

島

易斷總

達本

大連市浪速町(大連

がのでは、どうかはつきりと 「に於ていなの方もある、不能ののに前連合に於きました。」とうかはつきりと 「作物館に、散遊館に、又欲呼の中 来ないと私は存じますが、そうかはつきりと 「に於ている見ますと云ふと、何れも まずる聞きに於きました。

六十段な、製鋼所能は絵料から、大十段な、製鋼所能は絵料では、年間一人能り三個 御守護無料論

ででは、 を神様のここ故此の引去金を使れ を神様のここ故此の引去金を使れ では無いが、所戴だ ではない。 ではない

ふ多数の人の小門と

斯(單位十種) 二二先

後場市況(土油) 新昂腾



弊店類似の名稱を冠せる 神智意を乞よ。 金庫あり「大倉金庫」に

生徒募集業文明議及敬煙 年末洋服の御調製は今の内にお早 自 TAILOR 世界各國酒類 多半岛名產 日本各址名産 場長 年末大賣出し 動 洋 の ら崎 黄金町九四 車 ゎ 高田に御註文下 螢 高 た一合様 み箱入 五五〇〇 二。五〇位山 大連而廣場映樂館橫創立《大正 食料品 英和タイピスト學院 英 3 ク 。店 0

(可能和使到限三年)

計畫倒れにならぬか

滿洲移民問題

さに関して非常に経ばれてなら一必要だと云ふ風な意明がありま

りませうか、彼に触のない

過ぎない、帰動が済んで熱へば

大減公望男の質問

合縣

切借欵

買年郵件特別

至本月三十日止

奉天のダーク・サイド

に上つて**ゐる、それ** 

では、「安東」安東 | 清市成の王安東省 | 大大 | 長を職談以下省公里は前元成 | 一日午後五時より公認飯底で開かれたが主客百數十名残離、先う孫 | 大手地方委員議長市民を | 名表 | 一日午後五時より公認飯底で開かれたが主客百數十名残離、先う孫 | 一名表 | 一

日満人士の協和的な行動であった安東省は極くな意味で困難の かい かいまな は 種人士の協和的な行動であった安東省は種人女な意味で困難の のである。日本各位の此の協和 のである。日本各位の此の協和 のである。日本各位の此の協和 が指導を受け王道質現に進みたい 指導を受け王道質現に進みたい きょきへる

(三)

**満洲國年賀郵便ポスター** 

で年貨郵便な取扱ふこさゝなり各地に管護洲関郵政管理局では二十日から三十日

での影響を認め、製造製作の をはいくの他の人際人のはり一月 をいシーズンは矢脚りをから解放 をいシーズンは矢脚りをから解放

こそさてつもない数に上る、それ

を投げかけてゐるのはチャ 事件さらて世人に限りない疑問

方に建立中のさころ此の程敬工する!

大倉組の手によつて大乗帰西

所のみであり

四十四烈士の碑

さ述へ同七時経倉理に散合した

【事天】 「施家の文化は先づ電話

日滿兩交換孃

二十日除幕式を行ふ

からしのサービス・モットーの下 ・ 会社を天管理覧では、現在配置 ・ 会社を天管理覧では、現在配置 ・ 会社を天管理覧では、現在配置 ・ 会社を天管理覧では、現在配置 ・ 本人交換手の配置房は水黴、赤鰹 ・ 一二 都長

日からし、チテハル及び洗南の日浦官民の動物を乞ひ、盛大

略博で、之が二百六十八代、説論 代さして世人の耳なそば立たせた がしがちな真別、そして認来さな の整備さに鍵上頭に花を添へた慰

なはこれさ相談時して聴動するも

十月の犯罪數

刷印物只一分郵票

Ξ

於元旦的早晨送到蓋一月一日的戰手

百

るのを約一時間に重りが設めるな包閣と屋内より頑強に抵

十一時頃圖潔線〇〇完備歐大荒溝

間を演じて一名を逮捕

てこれを西方に緊退し

共匪七名を殱滅

一等兵、名譽の戦死

軍人の動態さらて即日上等長に低

幸役

報に接したる哈蟾河子分遺際膨齢時頃牽吉延線哈螺河子附近部落で時頃牽吉延線哈螺河子附近部落で

はこれを捕縛すべく直に現場

百名を撃退 圖寧線の共匪

記念事業に非難の聲が起り

双方明る〜妥協成立

紫龍酸をなる自己) ・ 地震を撃動して種々の変化能展 ・ 地震を撃動して種々の変化能展 ・ 地震を撃動して種々の変化能展

中 する市職の農意を酌入で銀行職で 標識なると詳細不明中 する市職の農意を酌入で銀行職で 標識なると詳細不明 能指しな遂げ正式調印をなする さ見られて居る

中央銀行も大護步

土地讓受成立

一大遊園地

王龍江省教育廳長談

10 大小は、中国のでは、大大学のでは、日本の国際が世界に記せると称の表面となった。 これの 大大学 では、日本の日海に、 は、 は、 は、 日本の日海に、 は、 日本の日海 に、 で、 は、 日本の日 海 に、 で、 で、 は、 日本の日 海 に、 で、 で、 は、 日本の日 海 に、 で、 は、 日本の日 海 に、 で、 は、 日本の日 海 に、 で、 は、 日本の日 に、 で、 は、 日本の日 海 に、 また、 、 「 日本の日 海 に、 また、 「 日本の日 海 に、 また、 「 日本の日 海 に、 また、 、 「 日本の日 海 に、 また、 「 日本の日 海 に、 また、 「 日本の日 海 に、 また、 「 日本の日 海 に、 「 日本の日 海 に、 また、 「 日本の日 「 日

## 街通りが明るく 市民の懐中は暗く

急ぎついあつたが此の程その九分 る職のメイン・ストリートな不安 を折り市警局観察の下に触々値下」に繋冲工場の借大化に伴ふ感油をです。 電燈殿でも窓に腰に腹頭な 賞添取抜撃さらての同縣は來年度 賞添取抜撃さらての同縣は來年度

居留民善處の大低 昭和七年十一月民會開設以來の諭を蘇々たる功績を強して居る、尚 際しては良く

食に潜る

に救済すべきか、先づ

図みに事懸前六戸十八名の邦人 が今日の大敦化への登成の努力 には氏の深くましい許りの逸話 の枚擧に連なく、今回の柴輔は 一般居留民より非常に情まれて 居る

是送りで盛んであった

たゞ。好の

大演習陪觀に渡日した

日鮮人

奉天の盛場に出現

参列と歴大衛に同十一時半解散した(富貞は除幕式)と中小學校生徒見童の尊い献金によりこの程完成したので、十二公中小學校生徒見童の尊い献金によりこの程完成したので、十二公中小學校生徒見童の尊い献金によりこの程完成したので、十二 帝制記念塔除幕式

吉林省公署農村救濟策として

對中央折衝を開始

規程内規即では今秋九郡天曜業務【奉天】挙天

た。 全価下げ運動を聴し、民会並に監 満洲公共脱離と相呼聴してまる二十 で他下げ運動を聴し、民会並に監 これの関係を信子のと、最近 これの関係を持つてるたが、最近 これの関係を持つてるたが、最近 これの関係を持つてるたが、最近 これの関係を持つてるたが、最近 では近に大低山さも連絡をは「大低山さも連絡をさりした。 付居留民会 を他下げ運動を聴し、民会並に監 に過ぎない書々は断然初志を員 に過ぎない書々は断然初志を員 に過ぎない書々は断然初志を員 に過ぎない書々は断然初志を員 に過ぎない書々は断然初志を員 に過ぎない書々は断然初志を員 が同態行動は中止されたき旨を申 他方面まで飛火するものでは影响で が同態行動は中止されたき旨を申 他方面まで飛火するものさ注目さ ないさころあつたが民会では民衆 れてるる、周に新民職の電療料は がしまるまであるさとり値 を表のが三能であるさ

中央地大浦人三名はその後所摂以 整備 職なくコソ派や 脚手帳の郷 地でゆく見るに恐びない 慰然の私仕 大変見別響き同十時午後一時の 観光では、北方の要別では、一日 大変要見別響き同十時午後一時の 観光では、たいなの要別によて一日を動脈では、一日 大変要見別響き同十時午後一時の 観光では、れるの要別にない、 電大線では、大変見別響き同十時午後一時の 観光がいばれてるたが、 電大線では、大変見別響き同十時午後一時の 観光がいばれてるたが、 電大線では、大ので、場りかはた山本は十一日 が何れも継続してあた り 服政で十二日より観響を示し、 るので、場りかはた山本は十一日 を設備した森口氏は大正十三年権 深らた、部分旅行の整備関がは一先づ解 原語で入るに恐びない 慰然をする北 でき後歌皇を寄めぬこことを終して の影響を行め整備としたが、 電大線では、大き音ののこことを終して の影響を行め整備とし、 なって、場りかはた山本は十一日 の影響を行めを開かれてるたが、 電大線では、大き音の人として今回の列職は から増まれてるる 地區の保安に離る管 第一整備班組長紫日卯之助氏(\*) 派出所を設置 鐵西工業地に

8 日満官民を招き新工場長ホールス氏の新任技変宴 會と催し

端窓が庭内に恐び込み離いて鳴く 端窓が庭内に忍び込み離いて鳴く 端窓が庭内に忍び込み離いて鳴く が、急慢に延迟一続なし得すに速走 つないであった三誠の中を遊籃選の大四人艇の最後世入り御屋に 

王省長の感激的挨拶

語る大川さんの一面 大川さんの黙描 本 大川さんの黙描 本

純文藝に就いての雑咸 田中貢太郎 ·大坪草二郎 三上於東吉

念する記念塔は夢天省下 新民居留民が して製展安東の特束を

電燈料値下運動

三人を發掘

撫順馬鄉坑茨盤事件

死體
どなつ
た

継連、常二を撮影した 二日が四日間に重り土里、雌基、 一年のいまで、一年のいまでは、一年のいまでは、一年のいまである。 一年のいまでは、一年のいまでは、一年のいまでは、一年のいまでは、一年のいまでは、 一年のいまでは、一年のいまでは、「日本のいま」といっています。

凶作史話

小野武夫 鐵甲 散史

知識階級は何故困惑がる軍状高量

嫉妬の政治學

國家主義の再現まる文

日本國家學の出發等

日本刀復吳

**爬**被心民族性 唐人お吉の顔 太政官札物語 幸田第件 

大演習印象記自井高二

**ド諸東京 二九六三九** 東京日本橋區吳服領三 平

# 五十萬都市目指, 建設へ躍進の安東

「電池」結形中に於け

精米部新設 營口金融會

十二月號交觸

羅津に屋内ス

【安東】湯洲陸の契職変東の膨膨 期して戦を観し唐を定むる者は者に整じ、昨年度に比しても候に百 東を目指して管理可能な足ごりをに整じ、昨年度に比しても候に百 東を目指して管理可能な足ごりを 「会」、「中の増加を元して居る、地方球」 造めてゐる このととなる 地方球 きゅうてゐる

金州會長會議

本年の建築屆出件數 オースケート場を演繹社で附近に酸くるの意見社監問に多く趣 一部にかがいるの意見社監問に多く趣 がでは下倉里等集中

【事天】大四門裡居住山口縣生 子供虐め説諭

既に十三歳になる男兒すら儲けて

以上で、他人の云ふ事は何でも解 っとのな云ひませの、歌声は聖通

いひながら

を振り込んで、熱いのなふうよう は入れたお海に、レモン半倍の沿い ななが暖れた時には、お砂糖な漆い

書が出来ない妻の結婚同意

和等の総職は、不可能でせうか、 及出来るさしたらいりのでせうか、 文出来るさしたら如何なる方法を したらいりのでせうか、子供を私 の庶子に入籍数しておいて後に賞 子になほす事が出来るでせうか。

大の鹿子は之に使って驚然撤出 をは一麽皆下の鹿子さらて入職 でするの外ありませぬが佛ら後で である外ありませぬが佛ら後で であるが佛ら後で

日 (本語) おいまでは、 1 では、 2 では、 3 では、 3 では、 3 では、 4 では、 4 では、 4 では、 5 では、 5

ますが、いよく一来番から、これーヒー駅のために無を吐いてなり

--[三] 後藤眞吉

す。なほ、織下式メーカーにはが装置されることになつたるう

鳴る日も近きにあることでせる。 獣地のコーヒーフアンの舌蜒が高の縦弾さして時代に一エボックを がてこの最新式の調理法によって、既は一の脈脈を低て母性フォーア が用と繁煌用とがありますが。や はりた出て一九〇〇年孤蝋新

**發語が遅いのか** 

の上に加へられましたが、展近この海下式(ドリップドンス

メーカーに更にいい的な吹食を施

野獣派ご

ドラ

拡戦十年間に急速なテ

ンボで養達

主主统配、汇高规序颁、平 等足统配、汇高规序颁、平

墨行機、课作

皆なざにも見る

届は受理されます

になります。(寺島由公)

生後二年十月

家庭顧問

方不明にして同意を得られない でですよく 総と得るに過ぎませの、故に戸 ませんがこのまゝ放つて催いてよ 郷史に難して戸当れる食兄の行 いでせうか (大連風生)

新音の盛裝を彩る

くし、右は耳たぶをすつかり出しとしなりますから心様響をよせてたのが人はごく自然に半ば耳をかたの歌ればあまり響をさると難らやかな新春の氣分が出しました。 飛歌する鯱の姿をうつして見ましゆるやかなウェーゲで池邊のなご すか、脳端をピンさあげて大空に

調理器(メーカー)の登達は実にコーヒーの普及につれてコーヒー

來春から發賣

書のうち、既

他のものは次

容易ならしむる

◆…この教育

を 大の校前の外の 本人の校前の外

恰好なこつてあり

本の具同、計画が加へられていまして最も能感

東京神田區須集町二ノ七寅青店経營(一周年記念號)

家持續、久松潛

瀬田茂嶽、深

山田孝雄輝註(四

字野哲人譯

本文の初めには

たの悪れはあまり髪をさるさ数ら

勅題、池邊の鶴

◇…洋髪と帶の結び方・案

び方に表現しました。以前は勉・ヤーした(職は、やりませんので)」なお正月の盛襲の洋髪を鬱のしたものですが昨今はあまりゴチーのですが昨今はあまりゴチーのですが昨今はあまりゴチーので

下かくら数」によく吹た物が方で一般神をあしらひました。際は能の

日

始末に就て<br />
一へく<br />
常思に<br />
でしていまする

が、之も必ず三尺以上は離して

大獣の天井や棚の後、戦の

い事は心懸けるべきことでせう。い事は心懸けるべきことでせう。ないのですがら、近所に新聞紙さか、セルロイド製品から可燃性の物を置かなるといいました。ス

九和

asimor主婦の心得帳

タ m 十七銭計 七十四銭 朝 二十二次 計 七十四銭

が転のたかい現在において、かう た雑誌が活動しはどめたことは

ピタミンA·B·O

では、新瀬など、ちがつ 本上陸男と云って、 「大きの一般という」である。これは中央 しつにかてしたのである。これは中央 してに呼びかけて、 な歌や、吹選、新瀬など、ちがつ 本上陸男と云ふな上陸の一般になった後にいった。

ーヴ・火鉢・瓦斯の始末

始末に就て一次して蓋や けて、そのさき

と思すとすどう の前に、壁に吊してあつた左腕が落ちの赤たき物は、長い時間を要するが、て大事に強つたさいふがはかなり、こ立か多く、ごうかするさが、なほその上に乗嫌かぶ。 上めないで して外出する で、壁に吊してあつた左腕が落ち の赤たき物は、長い時間を要する して外出する こうから して外出する こうがあるものですが、よく注意 しょうしょう して外出する こうがあるものですが、よく注意 という はないからお正月

けふは養士討入り記念日で

の一つでした。押しつまつ が爆機びのさいな変り歩きすが耐入りの前日大高源音 速つた話は有名です、散は ながら開風橋の上で其角に た貼つてあさから模様を観いないのであるから模様で観いなかったら白い総 南水をよくしばつて拭く、その後を ます。ついてに優は布に酢 の下部が汚れたり落ちか つたりしてるる時に、腰 まふさ綺麗になりま

師走行事の一つ ること、お線香の火も加木には出

は、近く電話番號が變るので新して各、い電話番號のカードを作製して各 ◆の職序で」火事だ・」は最後で が明名、書地、名前、附近の目標 をに云ひますさ、火事の電話に先 は せずに自ら先に立つて注意して下

いゝわけです。

調理器

日本思想叢書

大連関帯館 K・・

ン粉を加へ(大サジ四、五杯位) 切りをそへる。 工場として → 心得ておい をい作家さしては、少し歌りのないすい婚話なものないます、心臓能なものないますである。 はお父さんの秋歌氏ならば、その歌がない場性に於て、年歌のおえさ

ある所へバターな少し入れメリケー上からかけ、ハムさ音響のみじん 中心にして、アローカアや、女が生き成をごう館に切り、人参も な入れ湯を徐々にさし、六合位ン 井上友一郎の「貴本」は、新ら勝さ玉鬱を三分館に切り、人参も な入れ湯を徐々にさし、六合位ン 井上友一郎の「貴本」は、新ら同じ線に対ターなさかも特別で切ってある野菜さいため しい作家にふさはらい新ららい素 総色になった時器に出しておく ませ、材料が成かくなった時、 かってゐる。 カの内あたりに出來た奥行館を ある所へバターな少し入れメリケー上からかけ、ハムさ音響のみじん 中心にして、アローカアや、女 ある所へバターな少し入れメリケー上からかけ、ハムさ音響のみじん 中心にして、アローカアや、女 ある所へバターな少し入れメリケー上からかけ、ハムさ音響のみじん 中心にして、アローカアや、女 神上友一郎の「貴本」は、新ら かってゐる。

新別語かで

四白字勉強一助でデル「小學館發行

員上.

サンのほかに次の

ければならない。そして日本端をもつ

肇音 林大將は斯く申されます

でと讀本、玩具をかれた理想的の子供雜誌 を毎月お奥へ下さい。 どうでお子様に、城年俱樂部

八確信を以って申上げます これこそ

、一國の興亡に脱する重大事であります。

簡

易祭

養

立

十二月の文

密白質・脂肪

時

(四)

亙る大長等

昭和九年の満洲財

界

 $\Theta$ 

るや部人問題がく表面化と迷問で を膨起し、新事類とからい思い を動き残しが、新事類とからい思い を動き残しが、新事類とからい思い 新東は一葉に十二国方の解源を変い で市場人線は全く光彩の態さなつ

対惑材料山積し

波瀾重疊に推移

高橋財政期待裡に越年

五随前年同月に比し一八、二八

変態中にも描らず前月に比し一題の増加である、北瀬籔路は護

り機路の延退に伸ふ液線の開養人 、関の機構擬である、関線方面向 が開放性特別は一胞液せし は新線型膨体特齢送は一胞液せし

**法貨物總順數は一四八、五一四** 

九割七分の激増

# 實業部が立案審議中

#### 満洲國からも銀流出し 當局 相當の時日な要するものさみられてゐる 慎重に對策考慮

既部及び中銀においては本間壁を重視と慎重考慮中で傷へられる。 「東京特電十三日報』支那は英米への銀流気に懐み子解釈を繋らて事態上数止してゐるが、同じ瀟洒『東京特電十三日報』支那は英米への銀流気に懐み子解釈を繋じて事態上数止してゐるが、同じ瀟洒 先月埠頭發送高

は前月に比し木材が一、五五一 世がの減少を示した外教化も増 がの減少を示した外教化も増 がの減少を示した外教化も増 が、八〇二題の激増を見た ここは注目に値する、前年同月 に對しては紙類の一四四題総系 を関しては紙類の一四四題総系 が、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円の 1000円では、1000円の 1000円の 1000円では、1000円の 1000円の 1000

の騒響に引替へ無側車機に於ては 焼り強んざ一様されもも輸入貨物 が発んざ一様されもも輸入貨物 ○魔、在賞な捺滅したる狀態であ で一般は四分五厘十年以上が標準の普通会政権と一衆輸は四分三厘

**木** 大連教語學 六六 大連教語學 六六 大連教語學 六六

毛糸操短繼續

中で之れ迄銀行その他からの借 ・ 数の事故でもなき限り明年上半 数の事故でもなき限り明年上半 数の事故でもなき限り明年上半 期の起値界は依然好調を續する ものご腹られてゐる

火保率引上げ

商議が調査

決定後の成行が問題

銀輸入獎勵を 財政部へ建議

> り出して来ることが先決問題に 付館さいふ黄金を要する問題に けに、日本政府が腰な入れて乗

市

大連商議役員會 市議役員會は十七日午 市議役員會は十七日午 北京全議定期理事會は十七日午 北京全議定期理事會 北京全議定期理事會 北京全議定期理事 業は奥地筋及び邦商の資急ぎに暴 病大豆安を眺めて低落を示し、高 落を辿り豆粕、豆油は仕手薄の折でするでするです。 大豆暴落

内にあった浩洲登明協會は十三登明協會移轉商工會議

第12とて財政部に對し左の避識を 総界では在銀の機械に伴ふ恐慌對

華商金融界から

SANKYO

咳嗽並に喀痰を伴ふ急性 及慢性の呼吸器疾患並に

節末 50克头 平 3,00 幹職 300節头 ¥ 1,05

安東市場會社 設立準備成る

受測機等百十八圖二十銭、此金額、 日間が悪受測器は二百七十一萬、

**鈔票受渡減る** 

勝に比し八十銭安、百九十三萬百二十萬三千二百二十間にして

0

◆…經殿內地嘅で講座その他の現 た、遊来にない大會議だつたが た、遊来にない大會議だつたが 地間さの間の意見に眩れがある

票小

◆…何分内地側の製剤たちは一人 一点、自由の整調が出來るのに、滿洲 自由の製調が出來るのに、滿洲 を表した。

り続いわけでなく、古人もっ人 り続いわけでなく、古人もっ人 が迷つてゐるさき、一部もつて が迷りな解いてやる者は、千 をの迷ひな解いてやる者は、千 ◆…さいつて意見だけらか出さぬ けな出すかによつて相違する か、それさも撃に指率能意見だ

1三五

定期

咳祛痰にブロチン

醫學博士吉村喜作先生發見

他何等忌むべき若しくは危險なる副 應用上極めて安全なる點に於て異常 左記諸症に登に愛用せられつゝあり

Prunus屬植物の有效成分製剤にして、不快の味な

•室町 三共株式會量

月十七日の記録を残り本月二十四 日四二四東六、八七一題の新記録 本年十一月 一四八、五一四題 本年十一月 一二七、二八四題 本年十一月 七五、七三一題 前年十一月 七五、七三一題 十十月 十一月 十十月 十二八四題 急速に膨生を見やうさらてゐる、本の内臓はなかつた安東市場會社は小賣公胱 二千五百株は漁蝎が、残りは養社なかった安東市場會社は小賣公胱 二千五百株は漁蝎が、残りは養社、食・東電話』未だにその膨生を見 答わり、資本金十萬國五千株で内

五萬圓は滿鐵引受け 七千五百八十圓の減少である
地方 登登合三十一萬、東格三十三萬、義昌三十四萬、恒格二十三萬二十九萬
四二十九萬
百二十九萬
一十三萬五千、外十八店
百一萬五千

新京移民會議

實際彩たちが概 るた内地の學者。 々除って行く

明春の起債界

依然好調持續か

**満鐵社債から吉凶判斷** 

三二當期

三共の意義の別数と影響を表 開設と金融をたる音子「三条の 集品(3.4個)、用の別は北海間的 明記人類中値でさ、最初数します

說明書進呈

大・連 共薬品販賣所 山麻道-スー

東京・室町 三共株式會社

中欣市氏の自宅に

置され、あわださとい師走の巷に又々血なまぐさき戦慄をに於て田中判官夫人きよ(四三)さんの慘殺死體が出入日午後二時、市内側町一二九番地地方法院民事部判官田

直に敷祭局の指揮を仰いて附近一が知らされたもので、大連響ではかかくて老婆より大連署にこの惨劇

大連署では

日

幸设

してゐる田

で何心なく中

く表八気の字に総明したのか苦もなく開いたの

・ 窓所よ 「際家の大連取引所最小規和介氏方際いたの」 人の変を要見、あわてふためいて 「発素の大連取引所最小規和介氏方のである」

怨恨

兇劇か

に飛び込み留守居の老婆に懲報、

被疑者ごして某滿人指名手配

直に堺署を通じ

日午後一時子チハルより全権大使代理 中に緊迫就役の脱事の行うと来着、 地が飛行機で到着したのを始め、午 内田チチハル縦事、龍江省長代理 中に緊迫就役の脱事の行うと来着、 地どンより知名土が緩々と来着、 地どのおいた 一時八時 高級 が で しき

専職盟支部が中心さなつて目下地

銀行し反赤熱を高潮すべく白系軍人間には早くも機性者の追悼會を

你を進めついある。これに野し赤

日襲」「私は二人」をない」さの教ひを

かしき財命に上る事さなり、十二

一方この情報に接した在事自然医

一十一歳以上満三十二歳以一十一歳以上本業)

政府では右は反政府派の策酷さ見の話記の中心さなつて居るがソ歌

前郷込んだので

発売コワン

語計硝子

系職人は多大の注目を掘って居

大連中央戦壓

足跡の外手掛りなり

等の手掛りなく、 母素大脈なる鬼 な人であるか母糕さしないが、 複

の8の主は心療は の8の主は心療は

大きが見明した。8とが見明した。8

歡呼に送られ

してゐる

無丸で既に渡浦

事のある製満人を有力なる破綻者で、電本部では有力なる関連日中郎に二三回出人した。

さの意見が強い

怨恨によるものではないか

等の手掛りなく、日蓋大鵬なる鬼

る、常に閉ざ ーが苦もなり

沙村

連市楓町の自宅で

殺さる

思行商人が發見

なまさひ、前左額部かがですりなまさひ、前左額部かがですの見

十五日大連着 中島田中民氏以下東土の遺伝 お消各地の財味行においてを まがいた 放電車が丘

瀟

所からS

o S

に多大の酸脈を臭へ赤、白喉系間 キーロフ氏器索事似はり職各方面

刑死者追悼

日滿人アナウ

ーロフ事件

在奉白系露人が

誘拐された大阪の女給

は表立関より二間並 きよ夫人は外出着

英靈卅八體

## 射止めた 、思出の討匪行地に に再び疾驅と 猛虎

猛獸狩に長谷部將軍も參加



を出出版の日前職や大猛駅時は今一日清後界は固より一般の間に於 職者よりは個々本社が総総談が寄っている。 甞

料車の名を轟かせ、目下 τ ビシ攻撃にハ 市政策との機能の場合である。

に染め

酷井機察官が出

際が二三ケ所愛見さ

れたがその他

傷は左前額部の外に刷手に小され

四位

后の敵を撃退

東端中尉ら傷つく

管理所長出席の下に開通式を舉行

り同地満洲小學校に於て澤田奉天

社浸減電報局では電話交換業務関

繋が夫人の生命を斷つたものさ見の箇所には發見されず、頭部の一

枝さむの皮が二枚ソファーに敷 思説間に見事な大虎の皮が

に終したので、前に粋覧歌を訪れて終して、前に然々自通の日を送る名階長谷 一部少勝歌に北流で続歌された猛獣

数の成は何れも六尺

一支二尺餘

部少將の既

ち焼さ

を 連続なものさ考へられ、自分も 意義なものさ考へられ、自分も と非参加とたいさ思つてゐる、 と非参加とたいさ思つてゐる、 本社の猛烈労本社の猛烈労

左)さ大虎の皮

豪快・猛獸狩を語る下野崎

かあつて駄目だが たっ三八式単銃で したっ音つてもた したっ音ででもた

オロチョンのやうに触なつけて焼いて食べるか、成吉斯汗縄、エキックなころでコーカサス風。 でたものに一般漬けで金串にさして焼く)なご舌の酸快味を消臭す

回春の秘藥と鹿

猛獸狩のコツは生死一如の心境 ◆:そのうち京闘総拉窓線の機 | 一般息してゐる。佛し滿洲赤鹿や滿 (香慶)の五種がある | 一般息してゐる。佛し滿洲赤鹿や滿

狼と豺猫洲魔犬科のも カフェー東ラッキー隣 大連連鎖街

社交ダンス

してゐるものであるから電がることにも中し。 他地方廠の精から属別せられてぬといて、立脈な特を持つてぬるので 満洲猪 湯州の野雅は大

満洲赤鹿は毎年

るに充分であらう。

て居り、海浦朝鮮にも

職には根常数の

らず、最き十时、蔵徳一時八分のきされないで管がしてるるにも描いる。年の最もは戦争から抜

特用第一の

御進物には一

供價

の町速浪洋 乾 セーエ(炭代) 話集 浪

低の價格は必ず即構足を給はること、信じます

一種にて数百打の大量が準備

何卒御用命を願ひ上げます

本月の十五日は平常通り營業仕候

TO THE THE PARTY OF THE PARTY O

新京大馬路四六馬路率天加茂町十五番地率天加茂町十五番地

ンサーゴケ住木 アナウンサー日本人三名満洲人一 と十二月二十日迄に本人自筆の関展 と一十二月二十日迄に本人自筆の関展 であ頭を練え本社放送映売送附 一、 身元確實にして満洲内に保証 一、 、 験は十二月二十四日午前九 時本社に於て行ふ 大連市太山通八十番地 ユニバーサル ミリングミシン 日科 鋼ットサン小型自動車作機 機板板 清水貿易株式會社

新京 電五九二二 新京 電五九二二六

専売特許

滿洲電信電話戲 ショルー二井洋品店! 百下: お正月用の御買物は 

遼東百貨后吳服部

滿洲日報(廣告部)電話三六九五番 一等條原 那葉市が高気のブール



戰 慄 0

世中判官宅……×印が

(七)

悲痛・公判を續行 と印地では、

職、公知中に留守宅の悲報を知つ の会様が炭木教諭にさらなはれて 焼があるため午前九時頃法院に登 た、又午後三時半神明高女一年生 現行部日田中州官は民事の彫版公 い」さ一言を残らしたのみであつ

令息令孃が涙の言葉

無斷

で家屋を破壊

脚記したが 脚記したが

ないとこれかので

鏡から遠く〇〇〇江港〇〇〇な 慶祝に沸く北安 上水道 の敷設に

て発を振って見行を説ど

が間線定に

を接じて文化の際 だち十三日午前 である運びさな

於いて盛大なる〇〇〇〇のを舉行 八分二十分参列者

凌源電報局 十六日開通式

電流ではの中庭からソ諸國境へ真道 能流行者の中庭からソ諸國境へ真道 能流行者の中庭からソ諸國境へ真道 を展のでいた後る、北黒線の基女 が乗ば十三日午前八時二十分北安。 北行した、十三日夜は採炭際に一 一十四日午後一時半黒河に到着 を離れて

女列車は駛

る

《奉天十三日發國通》滿洲電々公 一路處女車北行 歩兵少尉さいふ殿とい肩書の壁を なるが、この中には 歌六等陸軍 ぬるが、この中には 歌六等陸軍 渡端したものであるのには経験 が所謂滿洲景氣に憧れて漫然 せた馬桑省戦なンさ三百餘名。 **子档架**安 大正六年生れの十七歳から明治 に當つた係員を吃驚させてゐる 東門壁校本業程度五十名を 機切ったが、

概が既任で非常に融価してゐる 正もと常能局長の前に邀みノ故 正もと常能局長の前に邀みノ故 かっちいかん

答した、するさがに配立不断で た売船さんが採用します/と師

前地方法院に提出

が及び門塀九関な破壊して町 管の敷設ななられ、而そて下 管の敷設ななられ、而そて下 終さなり、電まる原告は一 然さず設置しこれが残め映家 がまずなでして同 近百個の損害を乗つれので同

長官に賠償請求

一人はさつばりして無様がい

日世にさ云って無些ではいかれえ を修める事になったも、りしが要 を修める事になったも、りしが要 して常かれない。それを知って居 して常かれない。それを知って居

、學問したが宗計は襲

神ないとなっては成功はせい。 ないでする人ならずば成功はせい。 ないでする人ならずば成功はせい。 ないでする人ならずば成功はせい。

も幸行者。子が親を大事にするは 藤樹先生も親幸行でした。此能漢

ひ 艶々した 潤ほ

宿

熟比須町三七銭田二人組を希望す賃二○周

整容は

頭髪から

日分の順ひを先生は御承知下されていた。

事でこざいます。先づくこち

の美髪料の美髪料

女中

区院·治療·名薬

(N)

悟道神圓玉

由

雪

時りしきる雪を整水ながら百姓は他の内に入つた。熊澤大郎八は、性性の内に入つた。熊澤大郎八は、は他の内に入った。熊澤大郎八は、大野さか云ふエロ男に比べるさ是、大田で、他の小笠に繋を成ぎつ。

た外て中江橋を散落してか は馬士から中江陽の事を聞いて訪れてば先づ殿を射よ、おまへさん あゝ壁間の焼めは大した

> おばらず が毛髪を養し を変を養め に悪魔者 唯一の精品す て黒髪の美を すべての髪は 得らる として

三級 衛下領スチーム附入 エピス町一六〇西接番通 大連館

・天帆高級・比粧紙は

電五四三九番

映画

**県内** 

概な金でも有りさへすれば直によった人は概率行だと即けば何んな巨

見ても聞いても心地が快い、触ぎ

石鹼にサラリ 関高容易 等々々々 イツツなる哉 新新

卷并 町形人京東 館本

富

#00五八話電

連市伊勢町三五拓茂洋行紙店

王仁医院
大建市西通常兼任西広場中部
。 電話方式五二世 公



清洲國及開東州一手販 大連市山縣通 二一二番地 看護婦 (南京 本) (南京 本) 本 大連西部看護婦會主 大連西部看護婦會主 大連西部看護婦會主 大連西部看護婦會主 電話ニニ四九八番 内科·川兒科 井醫院 電6066掛



辯護士



三河町

小林义七支店

モミ治療お望の方は

牛乳バター、

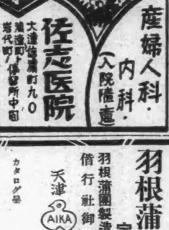
8

有政者數名親切數投會費 有工職一日世終、深速前 所工職一日世終、深速前 原達新三五一九番大速棋院









電話 大字 (壁水ホテル前) 佐藤電八五九六 電話八七六五・五五五七香 電話八七六五・五五五七香 電話八七六五・五五五七香 では、ます 伊勢町百〇九 大きす 伊勢町百〇九 大きす 伊勢町百〇九 大きす 伊勢町百〇九 大きず 伊勢町百〇九 大きず 伊勢町百〇九 大きず 大き



本人 男十七一十二 2 確保 多優 本人 男十七一十二 2 確保 多優 大連 会館 電七五三一 大用 廿歳 迄位にて 運送に 人用 廿歳 迄位にて 運送に

地話・御相談に施する一九四二〇

定性人

金金融。

一五钱 周 周

る故今後時々遺信せよ



御賜満納洲

五 日 咳 乾性濕性氣管支炎 乾性濕性氣管支炎





劑咳鎭力强

現を阻止し、且つ効力を的確にする特殊有効成分を抽出し、而も極力副作用の發促すサポニンを含む植物三つよりその全めるエフエドリンを、第三に痰の溶出を より作用する薬剤と異なり、喘息の根原故に喘息に對するアスモンは單に一方面 動を高めるかの何れかの方法よりありません。 嘴息發作な饃めるには喘息の發作を傳導する迷走神経 に表裏及び側面より の化學的操作を施したもので アスモンは第一に刺戟傳導を阻止するア ロピンを、第二に交威神經の働きを高 追まる新療法! 相呼應して作用しま

般咳嗽の鎭靜に

AS 133



日本海野蘇敦賀行

斯馬、愛媛、岡山三縣人二割引 東京市 自李丸 十二月七日後六時 海、佐川 行 照画丸 土月廿八日 海等野舎治行 照画丸 土月廿八日 所 四 司 着 十二月一日前六時 所 馬 着 十二月一日前六時 所 馬 者 十二月一日前六時 所 馬 者 十二月一日前六時 所 馬 者 十二月一日前六時 松浦汽船連出帜

ASMON

朝鮮郵船出版日本郵船出版

から一般の喋喋には少量で速やかに奏効するは勿断様にアスモンは喘息にも確實な効果がある程です

除かれます。

すから激しい發作も見事に鎮静し苦痛は

2 島谷汽船路出帆

一阿波共同汽船

超 川崎汽船域出帜

|| 日清汽船)||

四大腹蘇紐出限